

工事店様用

ZMPYKT エコめがね

全量買取向け

モバイルパック YK
＜三相パッケージ＞

〔太陽光発電 遠隔モニタリングサービス〕

施工・取扱説明書 Ver1.0

この施工・取扱説明書は、以下の商品の施工・取扱方法について説明しています。
「エコめがね全量10年プラン モバイルパック YK＜三相パッケージ＞」
(以下、本製品と記す)

はじめにこの施工・取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解のうえ、正しく安全にご使用ください。

- 施工に際して記載内容を守ってください。
- 施工は電気の知識を有する専門家が行ってください。

目次

目次.....	2
安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意.....	3
施工・設定の流れ.....	7
本製品について.....	8

施工手順

部材・機器の準備.....	14
施工にあたってご準備いただくもの.....	15
システムの配線について.....	17
パワーコンディショナの配線・設定.....	18
本体を設置する.....	19
電源ケーブル・接地線の配線.....	20
本製品に通信ケーブルをつなぐ.....	21
終端抵抗設定を行う.....	22
電源の起動.....	24
初期設定～設定ツール～.....	26
動作確認～設定ツール～.....	31
出力制御設定～設定ツール～.....	34
設定の完了.....	37

取扱方法

PCS 設定確認・編集～設定ツール～.....	38
出力制御設定確認・編集～設定ツール～.....	40
動作確認～設定ツール～.....	42
パワーコンディショナを交換・追加する.....	44
本体を取り外す.....	45

その他

設定ツール画面 こんな時には？.....	46
電力会社への申請書式.....	54

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意

安全区分/図記号について

誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害を、次のように区分して説明しています。



危険

正しい扱いをしなければ、この危険のために、時に死亡に至ったり、重傷を負ったりする場合も起こり得ます。また、同様に深刻な物的損害※を受けるおそれがあります。



警告

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、軽傷・中程度の傷害を負ったり、万一の場合には重傷や死亡に至ったりするおそれがあります。また、同様に重大な物的損害※を受けるおそれがあります。



注意

正しい取扱いをしなければ、この危険のために、ときに軽傷・中程度の傷害を負ったり、あるいは物的損害※を受けたりするおそれがあります。

※物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットに関わる拡大損害を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で説明します。









	<ul style="list-style-type: none"> ●一般的な禁止 特定しない一般的な禁止の通告
	<ul style="list-style-type: none"> ●分解禁止 機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性がある場合の禁止の通告
	<ul style="list-style-type: none"> ●一般的な指示 特定しない一般的な使用者の行為を指示する表示
	<ul style="list-style-type: none"> ●感電注意 特定の条件において、感電の可能性を注意する通告

危険








	周囲に発火性、腐食性のガスがある場所、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 爆発、火災、感電のおそれがあります。
	本製品の隙間などから、異物(金属片、可燃物、液体等)が内部に入らないようにしてください。 火災や感電のおそれがあります。
	既定の電源電圧でご使用ください。 規定外の電源電圧を供給されますと火災や感電の原因となります。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)











警告

	<p>幼児の手の届かないところに設置してください。</p> <p>感電による傷害が起こる可能性があります。</p>
	<p>発火物を近づけたり、可燃性ガスを含むスプレーを吹き付けたりしないでください。</p> <p>感電による傷害が起こるおそれがあります。</p>
	<p>ぬれた手で触れないでください。</p> <p>感電による傷害や機器故障のおそれがあります。</p>
	<p>分解・改造しないでください。</p> <p>感電による傷害や火災が起こるおそれがあります。電波法でも禁止されています。</p>
	<p>設置・施工の際は、系統電源及び本製品の主電源を必ずオフにしてください。</p> <p>感電による傷害が起こるおそれがあります。</p>
	<p>サーキットプロテクタは、線間電圧による感電の保護はできません。</p> <p>電線を握ると感電し、漏電動作はしません。</p>
	<p>通電中は、顔や手を近づけたり、触れたりしないでください。</p> <p>高電圧になる部品や高温になる部品があります。</p> <p>感電や火傷のおそれがあります。</p>
	<p>本製品の取り付けは、十分な強度のある壁面の平坦な面に確実に固定してください。</p> <p>落下し、機器の故障やけがの原因となるおそれがあります。</p>

注意

	<p>設置・施工の際は電気設備技術基準、内線規程に従い、第1種または第2種電気工事士が行ってください。</p> <p>感電・火災のおそれがあります。</p>
	<p>端子台の端子ネジは標準締付トルクで確実に締付けてください。</p> <p>発熱・発火の原因になります。5年に1回程度、端子ネジの増締めをお願いします。</p>
	<p>湿気の多い場所(洗面所、脱衣所、作業場、調理場など)に設置・保管はしないでください。</p> <p>また、製品内部に水や液状のもの、導電性の塵が入った状態で使用すると非常に危険です。</p> <p>焼損のおそれがあります。</p>
	<p>プラボックスの扉を確実に閉めてご使用ください。</p> <p>雨水などの侵入により内部機器を故障させるおそれや、風などによる扉の破損、脱落の原因になります。</p>
	<p>設置・施工時以外は、プラボックスの扉に鍵をかけてください。</p> <p>設備管理者の意図しない方が本製品を操作すると、感電・火災につながるおそれがあります。</p>
	<p>穴加工およびノックアウト加工をする際は、突起やバリをやすりなどで確実に除去してください。</p> <p>配線を傷つけたり、けがの原因となったりします。</p>
	<p>清掃は、乾燥した柔らかい布で行ってください。有機溶剤(シンナー、ベンジン等)など揮発性のものや、強アルカリ性物質、および強酸性物質や薬品を使用しないでください。</p> <p>ケースの変色や機器故障のおそれがあります。</p>

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

 注意(つづき)	
	<p>強酸、有機溶剤、火の近くなどの環境下では使用しないでください。 故障の原因となるおそれがあります。</p>
	<p>極端な高温下や低温下、または温度変化の激しい場所での使用および保管はしないでください。 例 ・直射日光の当たる場所 ・熱源の近く</p>
	<p>振動、衝撃の影響が大きいところや、落下するおそれがあるところに設置・保管（輸送を含む）しないでください。 落下により怪我をしたり、機器故障したりするおそれがあります。</p>
	<p>必ずアース(接地)を行ってください。 設備異常で漏電が発生した場合、感電のおそれがあります。</p>
	<p>強い磁界、電波を発生する機器の近くでの使用、保管は避けてください。 まれに誤作動(停止、リブート)や部品の故障を招くおそれがあります。</p>
	<p>コネクタ等には触らないでください。 コネクタの接合部に無理な力がかかると機器の破損や接続不良の原因となります。</p>
	<p>過電流や過電圧(雷サージ等)の影響を受けるような場所で使用する際には、すべての進入経路(電源線、LAN、アースなど)に対し適切なサージ保護デバイス(SPD)を選定し使用してください。SPDの選定/導入/設置については、専門の業者で行ってください。 故障、焼損のおそれがあります。</p>
	<p>本製品をつないだ状態でパワーコンディショナのメンテナンスツールは使用しないでください。故障するおそれがあります。 ※ メンテナンスツールとは、設定・保守時にパワーコンディショナの通信端子と接続して、パワーコンディショナから情報を取得する装置・手段を指します。 ※ やむをえずメンテナンスツールを使用される場合は、本製品の端子台にねじ止めされている通信線を外してからご使用ください。ご使用後は通信線を元に戻してください。</p>
	<p>動作中に本製品内の金属部や端子部、アンテナに手を触れないでください。 誤動作、故障の原因になります。</p>
	<p>付属以外のアンテナを接続しないでください。 電波法で禁止されています。</p>
	<p>周囲温度が45℃を超えた場合、本製品内の金属部分に手を触れないでください。 操作中に火傷をする可能性があります。</p>

安全上の要点

以下に示す項目は、安全を確保する上で必要なことですので、必ずお守りください。

- 本製品を廃棄する場合は、地方自治体の条例または規則等に従ってください。
- 本製品を廃棄する場合は、専門業者に依頼してください。
- 本製品に発煙、発熱、その他の異常を感じた場合は、本製品の主電源（ブレーカ）をオフにしてください。
- 本製品は、垂直な壁、もしくは架台に確実に固定してください。
- 本製品を押入や階段下など、通風を妨げるような場所に設置しないでください。

安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意(つづき)

安全上の要点(つづき)

- 端子台への配線は、端子サイズに合った圧着端子を使用してください。
- 振動、衝撃の影響が大きいところには保管（輸送を含む）しないでください。

使用上の注意

- 本製品は、NTTドコモ LTEサービスエリア内でご使用ください。
LTEサービスエリアは以下のサイトでご確認いただけます。
<https://www.nttdocomo.co.jp/support/area/>
- 本製品は静電気によって故障、破損することがあります。本製品に触れる前に身近な金属に手を触れるなどして身体の静電気を取り除くようにしてください。
- 本製品は計量法に定める指定機関が行う検定に合格した特定計量器ではありませんので、電力量の証明には使用できません。目安としてご利用ください。なお、発電量などの数値の表示精度はパワーコンディショナの性能に依存します。接続するパワーコンディショナの製品仕様書を確認してください。
- 施工、設定の際には、必ず施工・取扱説明書に従い確実に行ってください。
- 出力制御設定を行うと、パワーコンディショナとの接続状況によっては発電が停止する可能性があります。必ず施工・取扱説明書に記載の方法で出力制御設定を行ってください。
- 本製品を接続対象機種のパワーコンディショナ以外に接続しないでください。対応外のパワーコンディショナを接続されますと機器故障のおそれがあります。
接続対象機種に関しては以下のサイトでご確認いただけます。
https://www.eco-megane.jp/yk_pcs/
- 本製品を以下のような場所で使用しないでください。
 - 塵埃（粉塵、砂塵、綿ホコリ、金属粉、オガ屑、ワラ屑等）の多いところ
 - 金属・金具類に覆われた場所、金属の壁への設置、金属の机の上、金属製品のそば、電話機・FAX・PC・PC周辺機器・テレビ・電子レンジ・IH製品の近く
- 輸送の際には、衝撃15G（11ms）以下を保ち、振動や衝撃が直接本製品に加わらないように十分注意してください。
- 薬品が発散している空気中や、薬品にふれる場所での使用および保管は避けてください。
- 本製品を次のような場所に設置しないでください。
 - 温度変化が激しいところ
 - 潮風にさらされるところ
 - 揮発性、可燃性、腐食性およびその他の有毒ガスのあるところ
 - 浴室、脱衣所、台所等の水蒸気、油蒸気、結露のあるところ
 - 直射日光の当たるところ
 - 虫や小動物が多いところ
 - 使用温度範囲以外のところ
 - 使用湿度範囲以外のところ
 - 標高2000mを超えるところ
 - 汚染度3[※]以上のところ

※汚染度3：導電性の汚染が発生する、または予想される結露のために導電性となる乾燥した非導電性の汚染が発生するところ
- ケーブル（本製品内部のケーブル、施工により取り付ける電源ケーブル、通信ケーブルなど）を強く引っ張らないでください。
- 各コネクタ、ケーブルの脱着の際には、必ず本製品の主電源（ブレーカ）をオフにして、SVセンサ本体のLEDが消灯した状態にしてください。電源オフ後も最大30秒間電圧が残留します。
- パワコン-SVセンサ間通信ケーブルは正しく接続してください。
- 複数台接続時のパワコン間通信ケーブルは正しく接続してください。
- パワーコンディショナを複数台接続する場合は、同一シリーズのみで接続してください。
- パワーコンディショナとの通信ケーブルについては、弊社ホームページに掲載の「パワーコンディショナ - SVセンサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考にご準備をお願いいたします。
- 本製品に貼付されているシール類は剥がさないでください。剥がした場合、保証の対象外となります。
- 本製品設置時にはケーブルを通した穴の隙間をパテ等で塞いでください。
- サーキットプロテクタがトリップした場合、本製品が故障した可能性があります。電源を再投入しないでください。
- 電源ユニットへの配線、出力電圧調整はしないでください。

施工・設定の流れ

システム配線について確認します (P.17)



パワーコンディショナの配線・設定を行います(P.18)

- パワーコンディショナの配線
- パワーコンディショナの局番設定

必ず各パワーコンディショナの局番と終端抵抗の設定を行ってください。



モバイルパック YK 本体を設置します (P.19)



電源ケーブル・接地線をモバイルパック YK に配線します (P.20)



通信ケーブルの配線・接続を行います(P.21)



終端抵抗の設定を行います(P.22)



SVセンサの設定を行います (P.26)

- 初期設定(P.26)
- 動作確認(P.31)
- 出力制御設定(P.34)



設定の完了 (P.37)

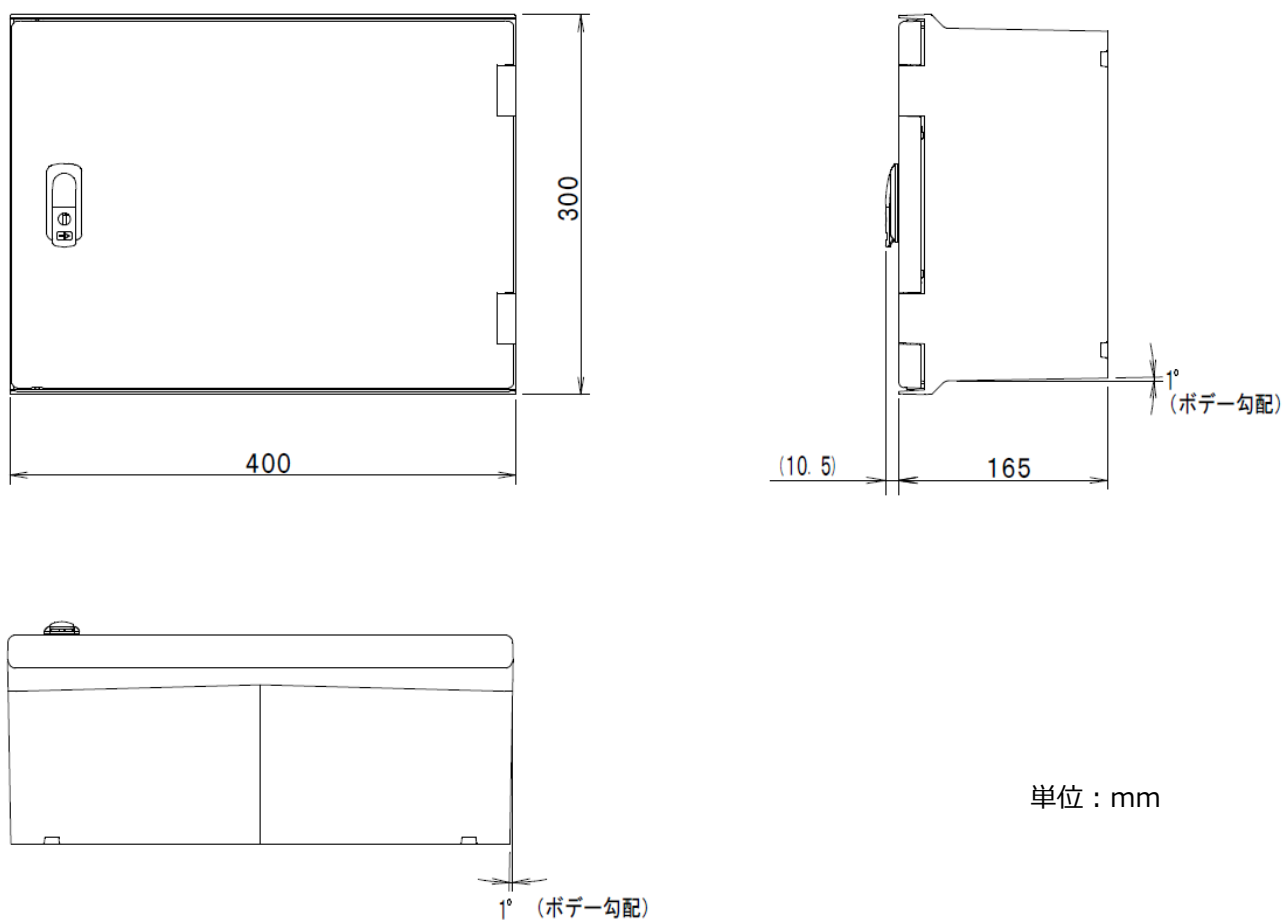
本製品について

● 仕様

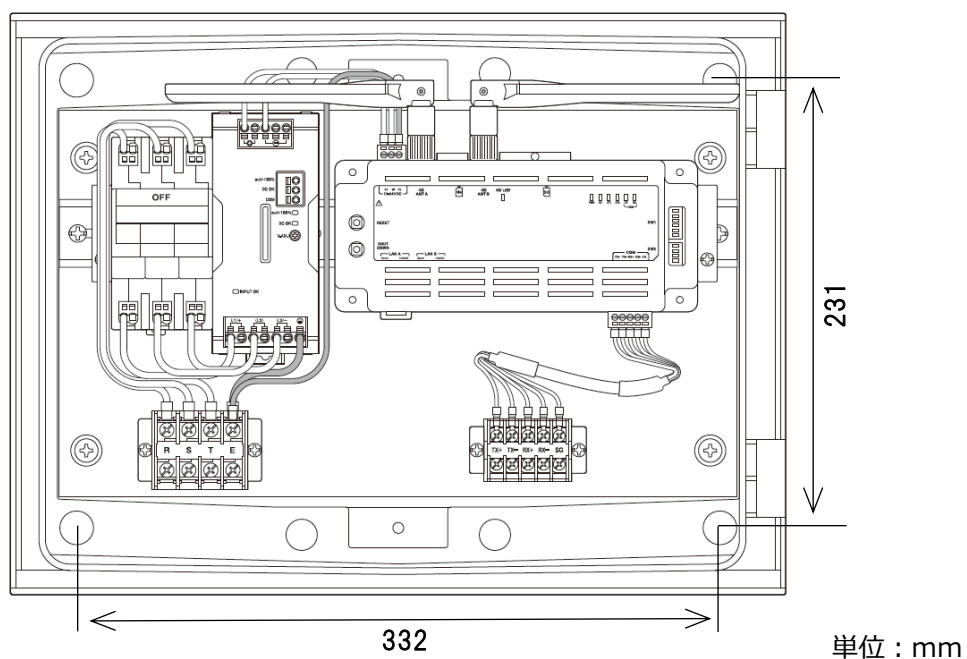
項目	仕様
■ 型式	ZMPYKT
■ 使用周囲温度	-10 ~ +60 °C
■ 保存温度	-20 ~ +60 °C
■ 使用周囲湿度	相対湿度 10 ~ 85 % (ただし結露しないこと)
■ 保存湿度	相対湿度 10 ~ 85 % (ただし結露しないこと)
■ 接続可能 パワーコンディショナ型式	接続可能なパワーコンディショナの型式は、以下のサイトよりご確認ください。 https://www.eco-megane.jp/yk_pcs/
■ 接続可能 パワーコンディショナ台数	最大接続台数 : 5 台 ※ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様によって台数が制限されている場合はその仕様に従います。
■ 電源	三相 AC200V
■ 消費電力 [W]	最大 14.8W
■ 入力容量 [VA]	最大 240VA
■ 保護構造	IP65 相当 ※施工状態によって、IP 等級は変化します。
■ 質量	5.0kg 以下
■ 外形寸法	突起部除く 幅 400×奥行 165×高さ 300 mm (突起部含む 幅 400×奥行 175.5×高さ 300 mm)

本製品について(つづき)

● 本体の外形寸法

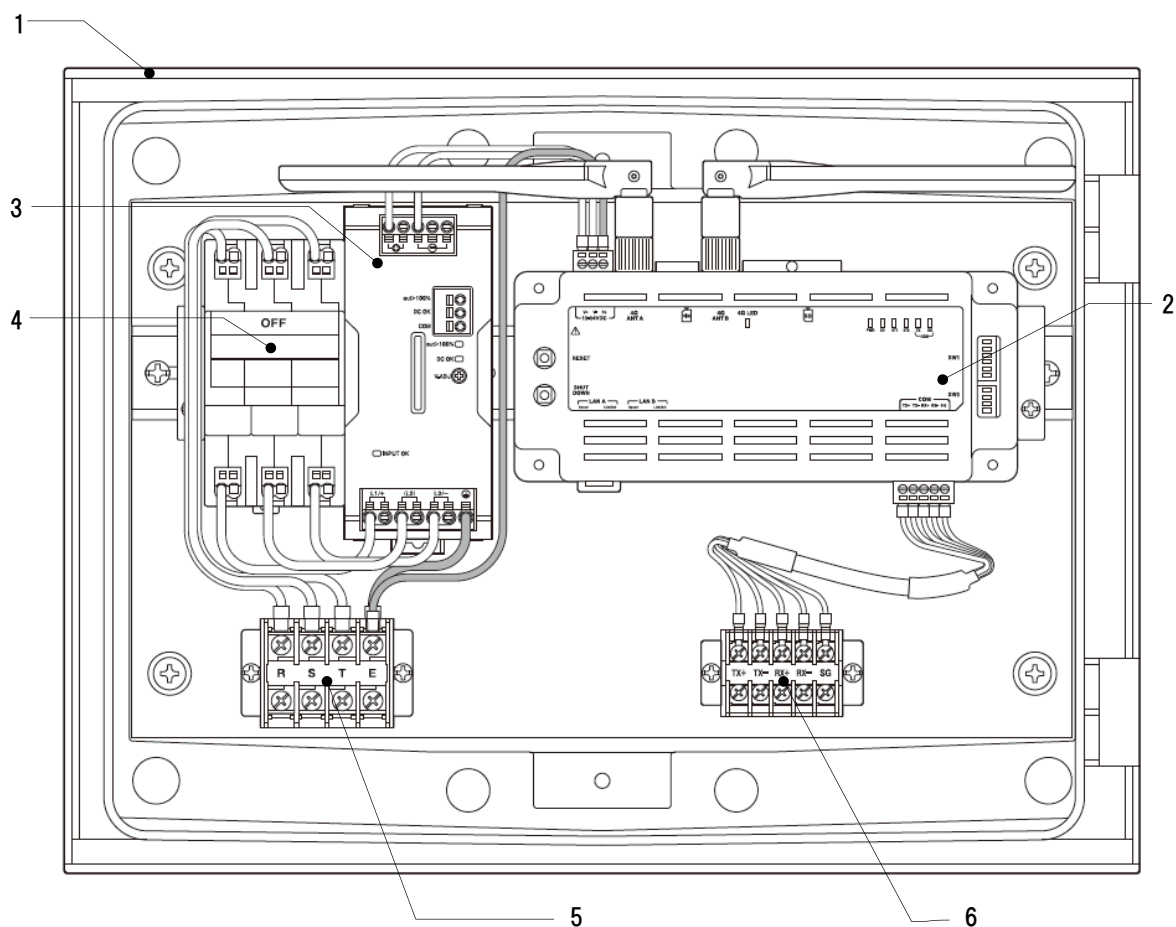


● 本体取付穴位置



本製品について(つづき)

● 搭載機器名称

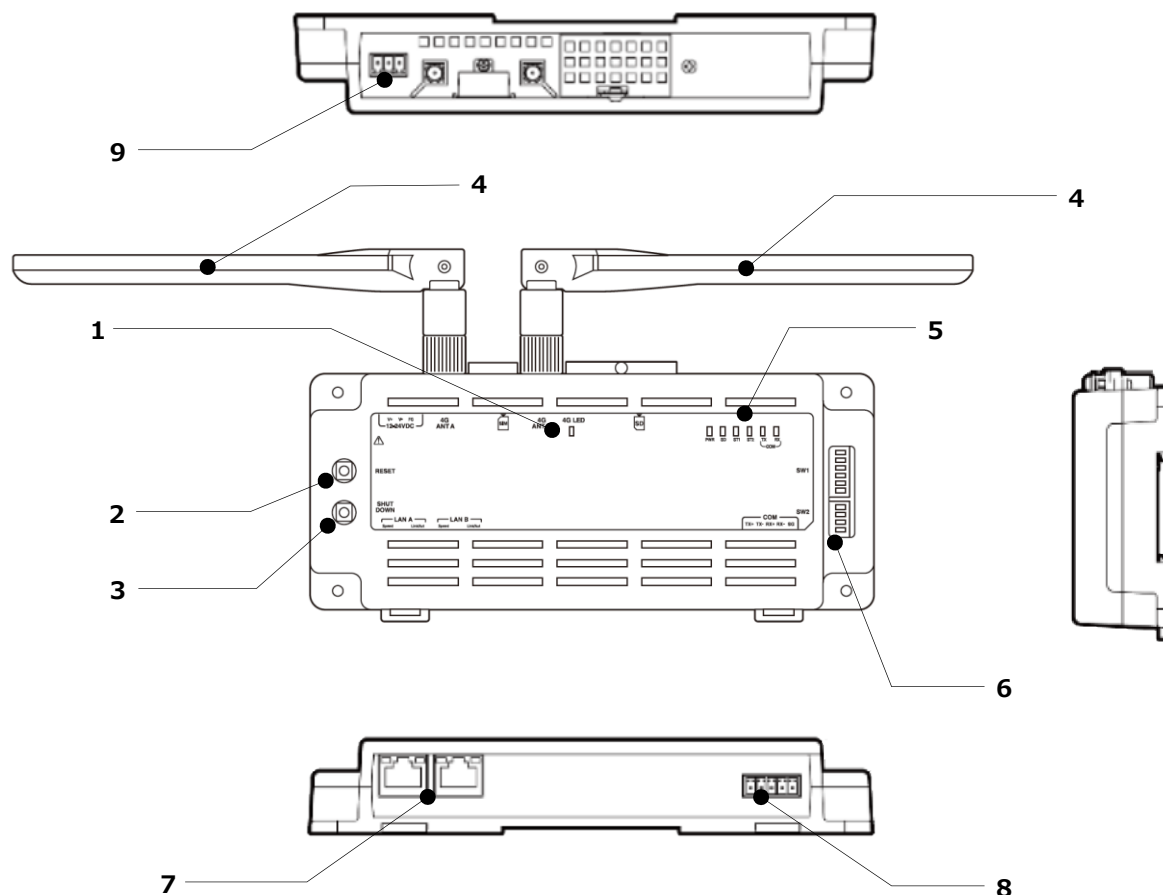


番号	名称	機能
1	プラボックス	保護等級：IP65 相当
2	SV センサ	パワーコンディショナから情報を取得し、サーバと通信を行います
3	電源ユニット	SV センサへ電源を供給します。
4	サーキットプロテクタ	搭載機器の保護用 電源ケーブルを接続します
5	電源・アース端子台	電源線、接地線（D 種接地）を接続します
6	通信線用端子台	パワーコンディショナの通信線と SV センサを接続します

本製品について(つづき)

● 各機器の詳細

■ SVセンサ



1 LTE LEDランプ

LTE電波状況を表示します。

※詳細は次頁に記載

2 RESETスイッチ

SVセンサを再起動します。

3 SHUTDOWNスイッチ

(本製品では使用しません。)

※長押しした場合、SVセンサがLEDランプ点灯したままシャットダウンします。自動復帰はしませんので、誤って押した場合はRESETスイッチを押下して再起動してください。

4 アンテナ

LTE網とデータ通信をおこなうアンテナです。

5 表示LEDランプ

SVセンサの動作状況を表示します。

※詳細は次頁に記載

6 設定スイッチ(DIPスイッチ※以降DIP-SWと記す)

RS通信モード設定、終端抵抗設定を行います。

※詳細は次頁に記載

7 LANコネクタ

(本製品では使用しません。)

※LANケーブルを接続できます。

8 RS485コネクタ

パワーコンディショナからの信号線を接続します。

※施工では、本コネクタに対して作業は行いません。

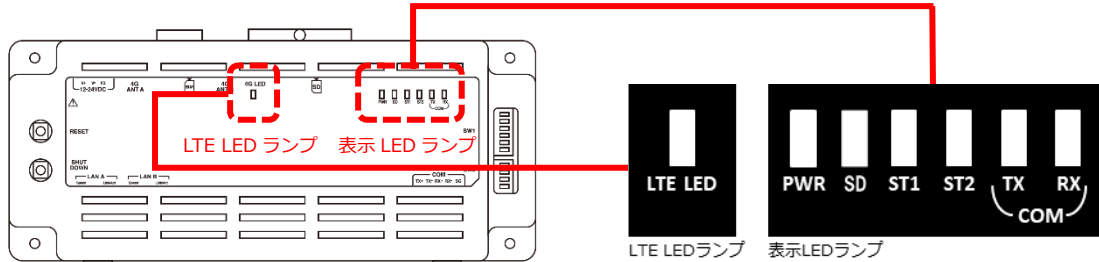
9 電源コネクタ

電源ユニットからの電力の供給を受けます。

本製品について(つづき)

■ SV センサの表示 LED ランプについて

SV センサの動作状況に応じて、LED ランプの表示は変化します。



● LTE 電波強度ランプ一覧

ランプ名	表示	電波強度
LTE	緑点灯	電波レベル 4 (強)
	緑点滅	電波レベル 3
	赤点灯	電波レベル 2
	赤点滅	電波レベル 1
	消灯	電波レベル 0 (弱)

● 表示 LED ランプ一覧

ランプ名	表示	状態
PWR	緑点灯	電源 ON
	緑点滅	起動時のデータ破損チェックで問題を検出 ^{※1}
	消灯	電源 OFF
SD	黄点滅	SD カードアクセス時
	消灯	SD カードアクセスなし
ST1	緑点滅	計測中、もしくはファームウェアアップデート ^{※2}
	緑点灯	計測時間外
	消灯	未設定
ST2	消灯	正常動作
	赤点滅	ファームウェアアップデート ^{※2}
	赤点灯	サーバ通信異常
TX・RX	黄点滅	パワーコンディショナと通信中 ^{※3}
	消灯	パワーコンディショナとの通信なし

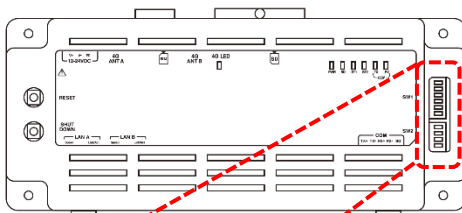
※1：緑点滅の場合は「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。

※2：アップデート時、ST1・ST2 は同時点滅

※3：接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります。

■ 設定スイッチ(DIP-SW)の機能について

DIP-SW の機能は下記の通りです。(SW の状態を白の四角で表しています。)

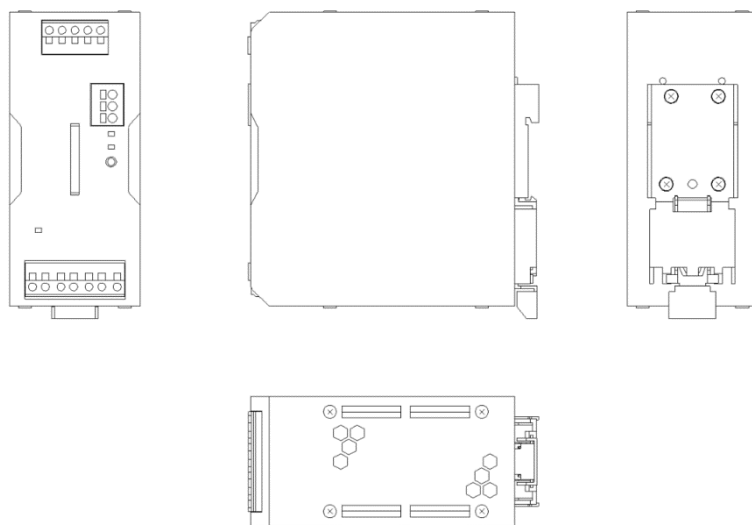


● 設定スイッチ (DIP-SW) 一覧

DIP-SW	No	機能	概要
上段の DIP-SW1	6	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	5	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	4	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	3	センサ設定	常時 ON でご使用ください
	2	システム予約	常時 OFF でご使用ください
	1	RS 通信モード	常時 ON でご使用ください
下段の DIP-SW2	4	TX- /RX- 状態	常時 ON でご使用ください
	3	TX+/RX+状態	常時 ON でご使用ください
	2	RX 終端抵抗	ON：終端抵抗有効 OFF：終端抵抗無効
	1	TX 終端抵抗	ON：終端抵抗有効 OFF：終端抵抗無効

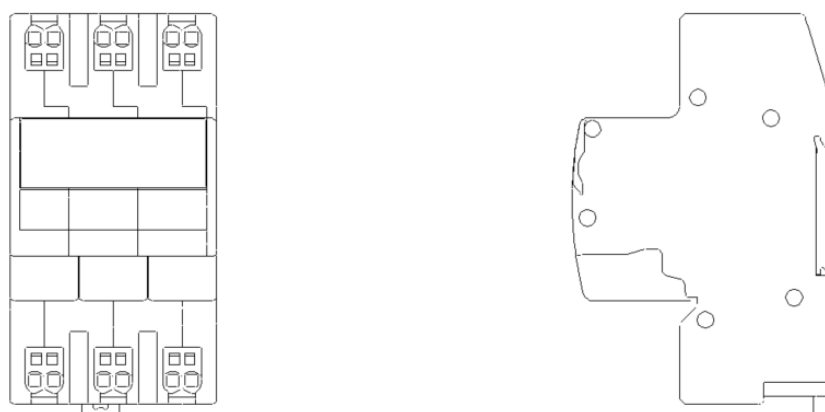
本製品について(つづき)

■ 電源ユニット



型式	S8VK-WA24024
入力電圧許容範囲	AC170~264V
最大ピーク電流	15A

■ サーキットプロテクタ



型式	CP30FM-3P003Q
極数	3P
定格電流	3A
引はずし方式	流体電磁式
動作特性	中速形
端子構造	スプリング端子

施工手順

部材・機器の準備

● 同梱品の確認

施工の前に、以下の同梱品がすべてそろっていることを確認してください。

名称	数量
モバイルパック YK	1 台
スタートキット	A4 サイズ 1 式
商品登録シート	A4 サイズ 1 部
施工・設定簡易マニュアル	A2 サイズ(折り畳み) 1 枚
安全上の注意/安全上の要点/使用上の注意	A3 サイズ(折り畳み) 1 枚
設備チェッカーチラシ	A4 サイズ 1 枚
「塩害オプション」をご契約の皆様へ	A4 サイズ 1 枚
ネジキャップ	4 個
キー (No.200)	1 本
矢印ラベル (使用しません)	2 枚
防水キャップ	2 個 ^{※1}

※1 塩害オプションをご契約の場合のみ、防水キャップが同梱されます。

機器類

●モバイルパック YK

本製品。施工・取扱説明書に従い、発電所に設置いただく機器です。

●SV センサ設定用端末

モバイルパック YK の設定作業を実施いただく必要があります。

設置現場で Web 接続可能な情報端末(PC、スマートフォン、タブレット端末等)をご準備ください。

マニュアル

●モバイルパック YK 施工・取扱説明書(本書)

本製品の施工・設定・取扱に関する説明を記載しております。

エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページよりダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

●モバイルパック YK 施工・設定簡易マニュアル

本製品の施工・設定方法につきまして、簡易的に記載したマニュアルです。

本製品に同梱されています。

●パワーコンディショナ、周辺機器の施工マニュアル

本製品の設定にあたって、パワーコンディショナや周辺機器の設定を変更する必要があります。

設置されるパワーコンディショナや周辺機器の施工マニュアルをご準備ください。

●パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル

ご利用にあたり、パワーコンディショナと本製品の SV センサ間の通信用ケーブルをご準備いただく必要があります。ご使用のパワーコンディショナに応じて、エコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページより加工マニュアルをダウンロードしてください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

部材類

●パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル

パワーコンディショナ毎に入手、作成いただく必要があります。詳しくは弊社のエコめがね 販売会社さま向けダウンロードページより、「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」をダウンロードし、内容を確認してください。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

●パワーコンディショナ間通信ケーブル

パワーコンディショナを複数台設置する場合は、パワーコンディショナ間をケーブルでつなぐ必要があります。詳しくはパワーコンディショナの施工取扱説明書を確認してください。

●電源ケーブル

本製品への電源供給の為、電源ケーブルが必要です。

●接地用ケーブル

機器接地用にケーブルが必要です。

●PF 管

プラボックス内部への電源ケーブル、通信ケーブル通線用に 2 本以上ご準備ください。

●防水性のある PF 管コネクタ

防水性のある IPX5 以上のコネクタを推奨します。プラボックス内部内への電源ケーブル、通信ケーブル通線用に 2 個以上ご準備ください。

●圧着端子

電源ケーブルや SV センサ-パワーコンディショナ間通信ケーブルを作成するために使用します。本製品の施工で最低限必要となる圧着端子サイズは以下となります。

電源線(電源端子台側)	: M4 サイズ
接地線(アース端子側)	: M4 サイズ
通信線(通信端子台側)	: M3.5 サイズ

●コーキング材

本製品への配線施工完了後、プラボックスの取付穴の隙間部分を埋めるために使用します。

●穴埋め用パテ

本製品への配線施工完了後、PF 管コネクタの隙間部分を埋めるために使用します。

工具

●モバイルパック YK プラボックス穴あけ加工用工具

●ドライバー

●トルクドライバ

●圧着工具

●ニッパー

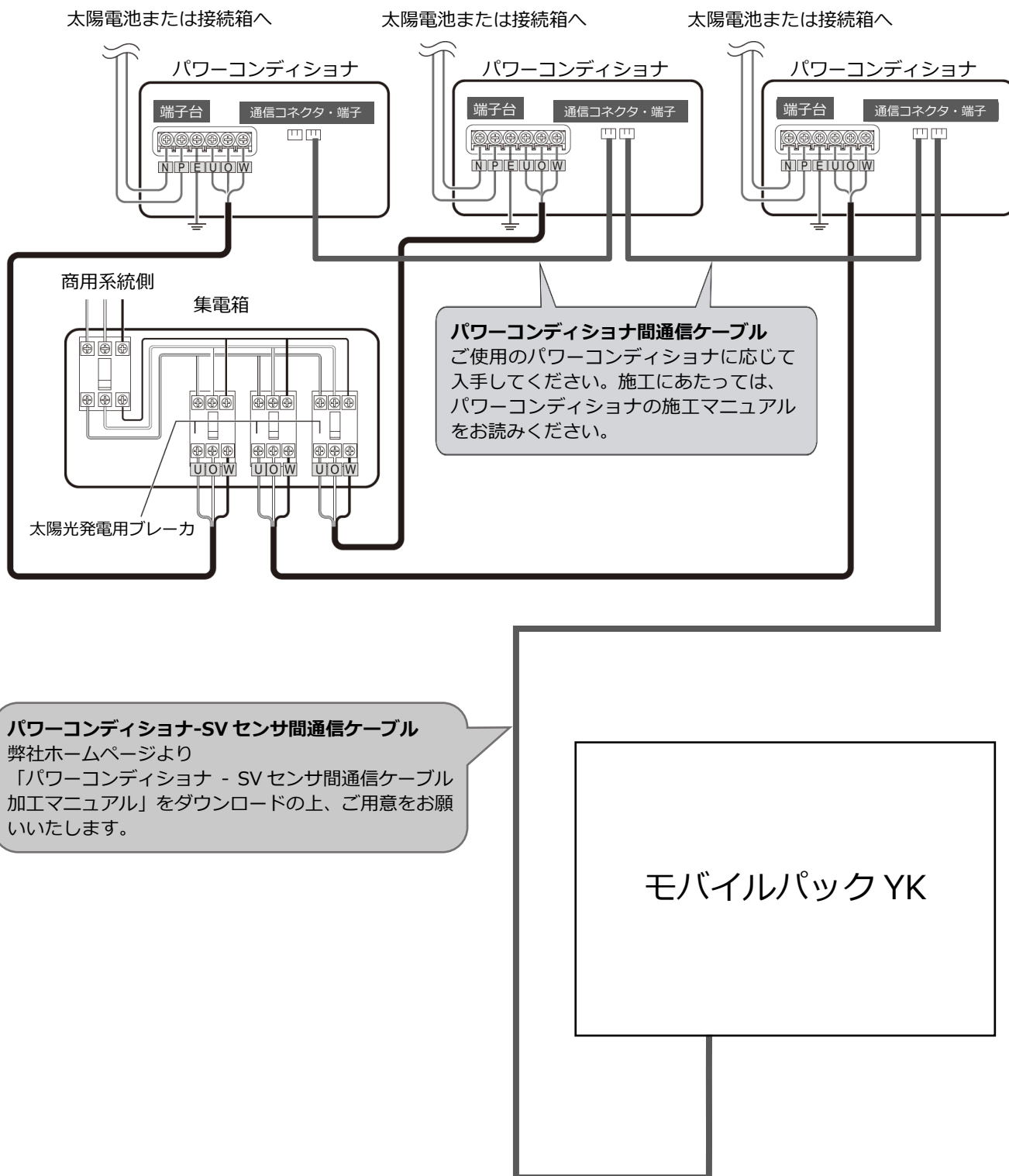
●セラミックドライバー等

SV センサの DIP-SW 操作に使用します。電気を通さない、先の細い工具を準備してください。

システムの配線について

施工手順

モバイルパック YK は、**5 台までのパワーコンディショナの発電量を取得することが可能**です。
※ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合はその仕様に従います。
以下にパワーコンディショナを 3 台接続する場合のシステムの配線を示します。
(機器のイラストはイメージ図です)



● はじめに

ご使用されるパワーコンディショナにより、設定方法や通信ケーブルの配線方法が異なります。必ずパワーコンディショナの施工マニュアルを確認してから、配線・設定作業を行ってください。

1 パワーコンディショナを設置する

パワーコンディショナの施工マニュアルに従って、パワーコンディショナの設置施工を行ってください。

2 パワーコンディショナ間通信ケーブルを接続する

パワーコンディショナを複数台設置する場合は、パワーコンディショナ間をパワコン間通信ケーブルで接続する必要があります。パワーコンディショナの施工マニュアルをご確認の上、ケーブルをご準備ください。また、接続方法につきましても、同様に施工マニュアルをご確認の上、接続してください。

3 パワーコンディショナの局番(アドレス)設定

パワーコンディショナ間を通信ケーブルで接続する場合、パワーコンディショナの局番設定が必要になります。パワーコンディショナの施工マニュアルを確認し、設定を行ってください。

■パワーコンディショナの“局番”とは？

パワーコンディショナを複数台設定する場合、パワーコンディショナ毎に識別番号を設定する必要があります。本製品ではその識別番号を“局番”という名称で記載しています。

局番設定例

接続台数	局番
パワーコンディショナ 1 台目	1
パワーコンディショナ 2 台目	2
パワーコンディショナ 3 台目	3

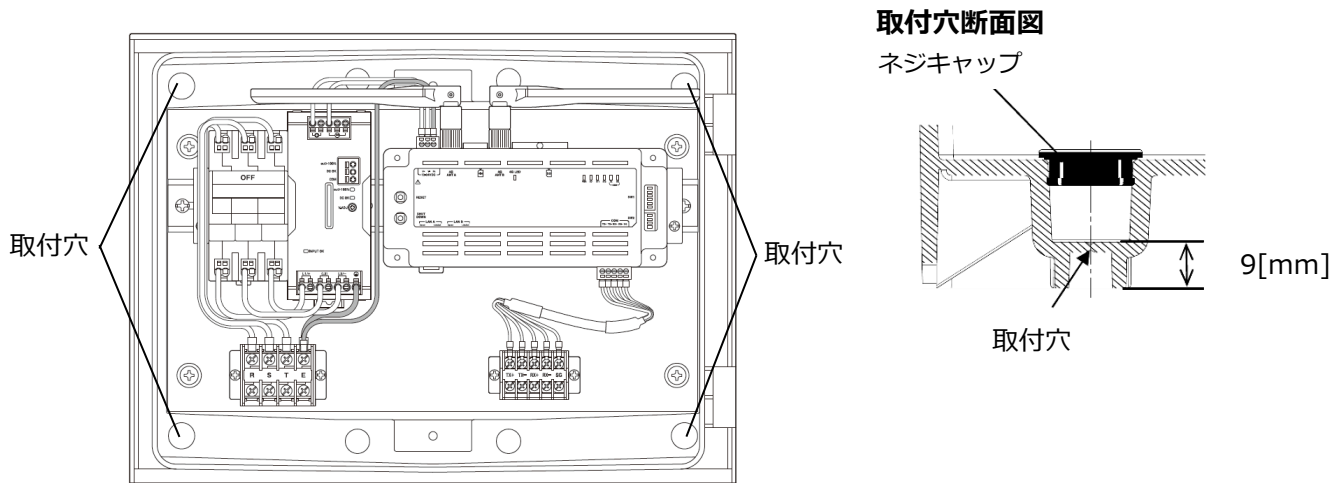
- SVセンサとの接続が近い順に、「パワーコンディショナ 1 台目」、「パワーコンディショナ 2 台目」、「パワーコンディショナ 3 台目」と表現しています。
- 工場出荷時、パワーコンディショナには同一の局番が設定されています。SVセンサと接続される複数台のパワーコンディショナの中で、局番が重複しないよう設定してください。必ず「1」から順に局番を割り当ててください。
※接続対象のパワーコンディショナによっては、周辺機器の局番設定が必要になる場合があります。
- 上記の設定例に従って、パワーコンディショナ 4 台目以降を設定される場合は、「4」、「5」、「6」の順で局番を割り当ててください。

●局番が正しく設定されていないと、エコめがねは正しい発電量を算出できません。
必ず上記の表のように設定してください。

1 モバイルパック YK の取付穴に対して、穴開け加工を行う

Φ6.5~7.0 mmのドリルにて穴あけ加工を行ってください。

※穴を開ける際、工具などでプラスチック内部の機器を傷つけないよう注意してください。



2 本体底面に穴を開ける

本製品内に電源ケーブル、パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルを引き込むため、ご準備いただく PF 管コネクタに合わせ、本体底面 2 か所(電源配線用、通信ケーブルの通線用)に穴を開けてください。

※穴を開ける際、工具などでプラスチック内部の機器を傷つけないよう注意してください。

※弊社サービスのご利用にあたり、他の機器を接続する場合、必要に応じて接続する PF 管コネクタ数を増やしてください。

3 PF 管コネクタの取り付けを行う

4 本体を取り付ける

モバイルパック YK を架台、もしくは壁面に取り付けてください。

取り付け後、取付穴をコーキング材でコーキングし、同梱されているネジキャップを取り付けてください。万一、ネジキャップの取り付け等をお忘れになりますと、プラスチック内部に水分、小動物等が侵入し、内部機器の故障につながるおそれがあります。

●直射日光が当たる場所、直接雨にぬれる場所への設置はお避けください。

1 電源ケーブルを、電源端子台へ接続する

●必ず主電源のブレーカがオフであることを確認して、作業してください。

モバイルパック YK の電源端子台には透明のカバーがついています。カバーを外してから接続作業を行ってください。

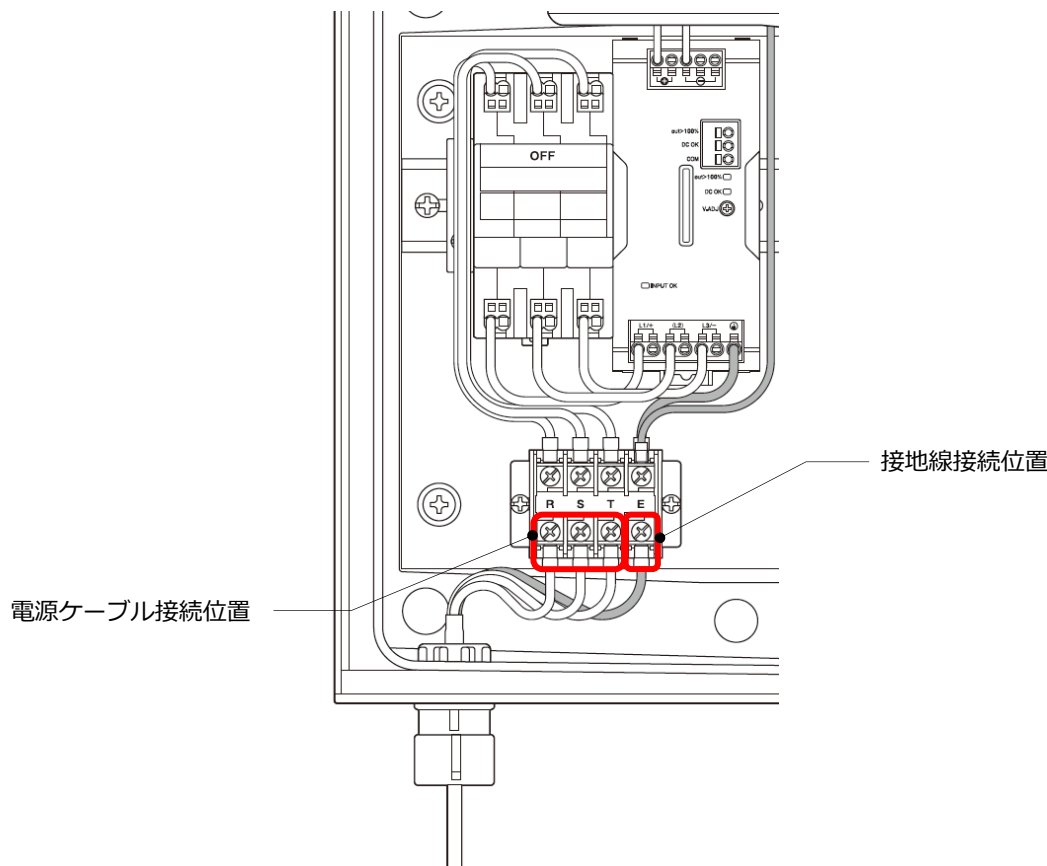
接続に関する注意	・施工・点検時には必ず主電源を切ってください。
	・電線の絶縁被覆をかまないように圧着・接続してください。
	・端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。 接続不良は、発熱や発火の原因になります。 端子ネジ：プラスマイナスナベセムス(M4×7.5L) 標準締付トルク：1.2~1.8N・m

2 接地線をアース端子につなぐ

接地線をモバイルパック YK 内にあるアース端子(E)に接続します。
接地線に丸端子(M4 サイズ)を圧着し、端子ネジは標準締付トルクで確実に締め付けてください。

端子ネジ：アースボルト(M4)
標準締付トルク：1.2~1.8N・m

接続完了後は外したカバーを元に戻してください。



1 パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルを準備する

パワコン - SV センサ間通信ケーブルは、ご使用のパワーコンディショナに応じてお客様にて作成いただく必要があります。ケーブルの作成方法については、弊社のエコめがね 販売会社さま向け ダウンロードページにある「パワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブル加工マニュアル」を参考にご用意をお願いいたします。

<https://www.eco-megane.jp/partner/support/download/>

2 通信端子台にパワーコンディショナ-SV センサ間通信ケーブルをつなぐ

モバイルパック YK の通信端子台には透明のカバーがついています。カバーを外してから接続作業を行ってください。

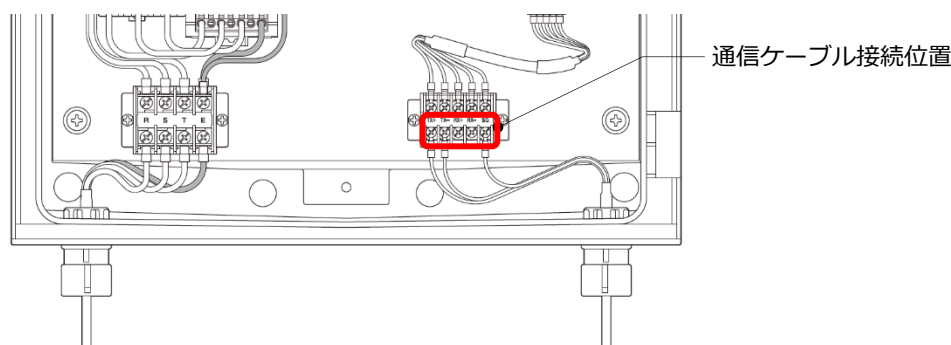
シグナルグラウンド(SG)のあるパワーコンディショナについては、SG 線を SG 端子に接続してください。

- ・端子ネジ：プラスマイナスナベセムス(M3.5×6.7L)
- ・通信ケーブル接続用端子台締付けトルク：0.8～1.4N・m

【注意】

通信ケーブルのシールドとモバイルパック YK の SG 端子とを接続しますと、機器間の通信が安定しなくなることがあります。シールドは SG 端子に接続しないでください。

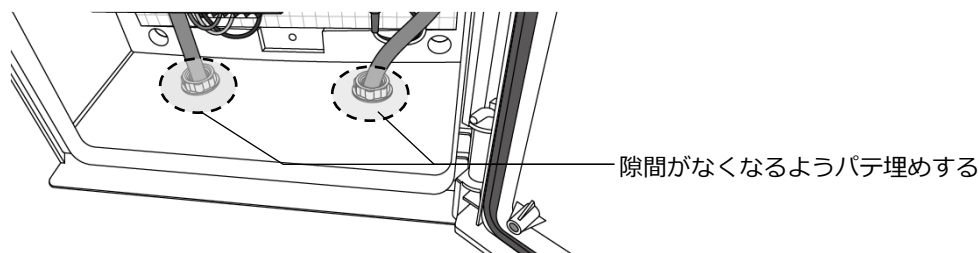
接続完了後は外したカバーを元に戻してください。



3 PF 管コネクタとケーブル間の隙間をパテで埋める

PF 管コネクタと電源ケーブル、通信ケーブルの隙間をパテ埋めしてください。

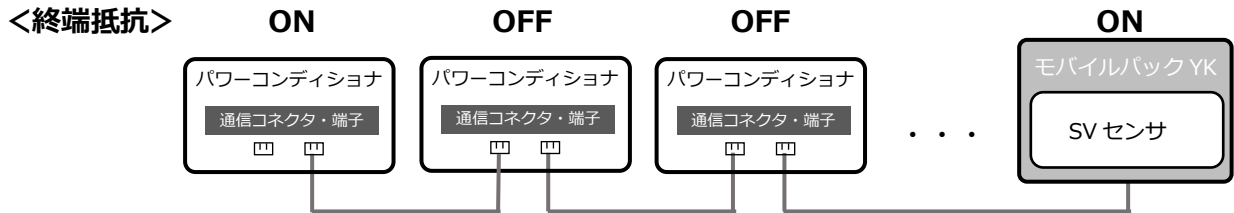
※パテ埋めが十分でない場合、プラボックス内部に水分、小動物等が侵入し、内部機器の故障につながるおそれがあります。



● 終端抵抗設定

パワーコンディショナを複数台接続する場合は、終端抵抗の設定が必要になります。一般的に、通信経路の終端に位置する機器については、終端抵抗の設定を ON にし、中間に存在する機器については終端抵抗を OFF にする必要があります。パワーコンディショナの終端抵抗設定については、パワーコンディショナの施工マニュアルに従って、設定を行ってください。

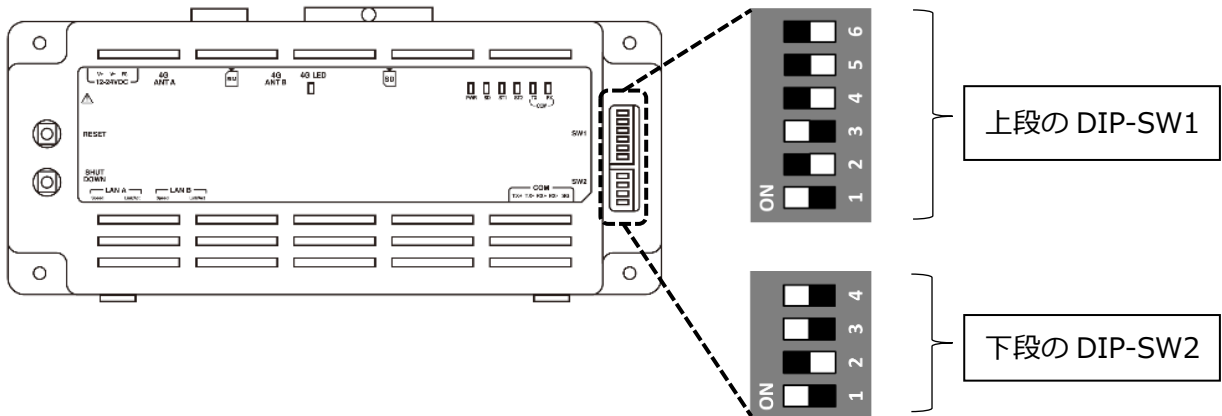
■ モバイルパック YK を通信経路の終端に設置する場合(推奨)



●通信経路の終端に位置する 1 台のパワーコンディショナ、もしくはその周辺機器の終端抵抗を ON にし、それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗を OFF にする。

●SV センサの終端抵抗の設定を確認/変更する。

SV センサの右側にある DIP-SW2 No.1 が ON 状態であることを確認してください。ON 状態でない場合、セラミックドライバ等を用いて ON に変更してください。(下図参照)



※SW の状態を白の四角で表しています。

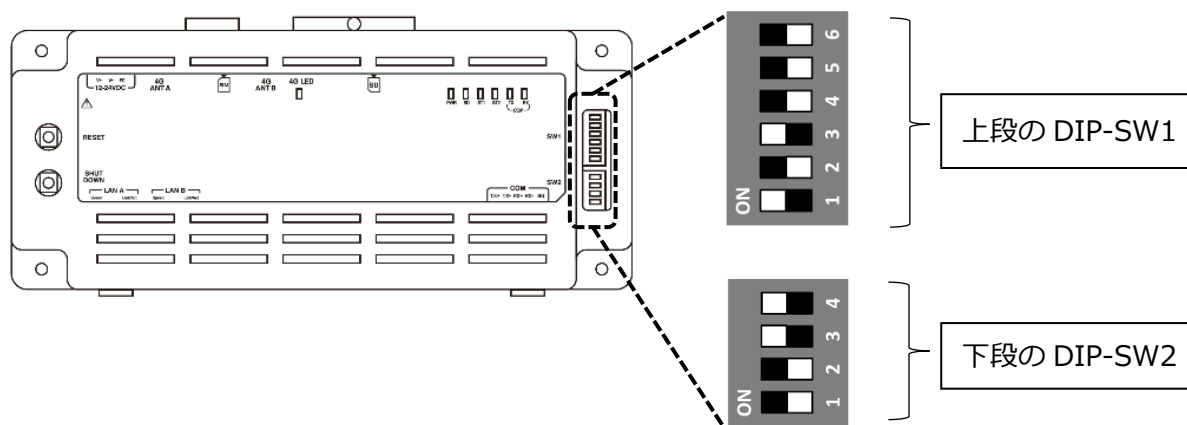
■ モバイルパック YK を通信経路の終端以外に設置する場合



- 通信線の終端に位置する 2 台のパワーコンディショナ、もしくはその周辺機器の終端抵抗を ON にし、それ以外のパワーコンディショナの終端抵抗を OFF にする

● SV センサの終端抵抗の設定を確認/変更する

SV センサの右側にある DIP-SW2 No.1 を、セラミックドライバ等を用いて OFF に変更してください。(下図参照)



※SW の状態を白の四角で表しています。

● 起動前の確認

起動を始める前に、以下の項目を確認してください。

- 本装置の設置・電源配線が完了している。
- 接続しているパワーコンディショナの施工が完了している。
パワーコンディショナの施工については、パワーコンディショナの施工マニュアルをお読みください。
- パワーコンディショナが起動できる日射量がある。
初期設定の際はパワーコンディショナと通信を行うため、パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、本装置の初期設定を行ってください。
- SVセンサのDIP-SW1のNo.3がONであることを確認する
DIP-SW1のNo.3がONでない場合は、セラミックドライバ等を用いてONに変更してください。



※SWの状態を白の四角で示しています

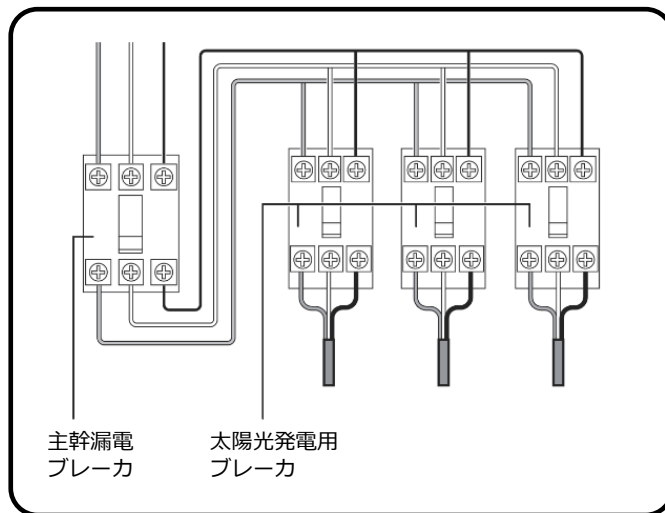
● 起動する

システムを起動する前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）を**オン**にしてください*
- 太陽光発電用ブレーカを**オン**にしてください*
- パワーコンディショナの運転スイッチを**オン**にしてください*
- モバイルパック YK 用主電源ブレーカを**オン**にしてください

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

集電箱（全量買取方式）の例



1 モバイルパック YK のサーキットプロテクタを ON にする

SVセンサが起動を開始します。

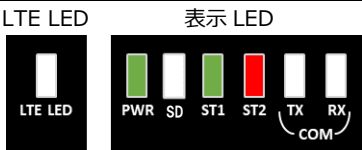



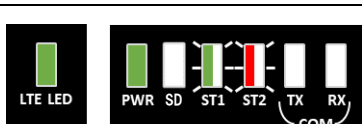
2 SV センサのランプ状態を確認する

電源投入後、下記のようにランプ状態が遷移して起動が完了します。

【注意】

- ・SV センサの起動中にファームウェアアップデートが自動実施されることがあります。
- ・ファームウェアアップデート中は絶対に電源を切らないでください。SV センサが故障することがあります。
- ・ファームウェアアップデート実施の目安時間は 15 分～20 分です。(接続環境によっては 20 分以上要する場合があります。)

■ SV センサ起動時のランプ状態

No.	ランプ表示	ランプ状態
①		電源投入時 ・PWR : 緑点灯 ・ST1 : 緑点灯 ・ST2 : 赤点灯
②		・PWR : 消灯
③		・PWR : 緑点灯 ・ST1 : 消灯 ・ST2 : 消灯
④		起動完了 ・LTE : 表示開始 →電波強度に応じた表示※
⑤		ファームウェアバージョンアップ実施中 ・ST1 : 緑点滅 ・ST2 : 赤点滅

SV センサのファームウェアアップデートがない場合は、④で起動完了となります。
 アップデートが実施される場合は、⑤に引き続き再起動が実施され、再度①～④のように状態が変化します。

※電波強度に応じた表示は下表「LTE 電波強度ランプ一覧」をご覧ください。

■ LTE 電波強度ランプ一覧

ランプ表示	電波強度
緑点灯	電波レベル 4 (強)
緑点滅	電波レベル 3
赤点灯	電波レベル 2
赤点滅	電波レベル 1
消灯	電波レベル 0 (弱)

電波強度がレベル 1 以下の場合には安定して通信ができません。
 モバイルパック YK の設置位置を変更してください。

● SV センサの初期設定を実施する

1 「YK 設定ツール」にアクセスする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://yk.eco-megane.jp>

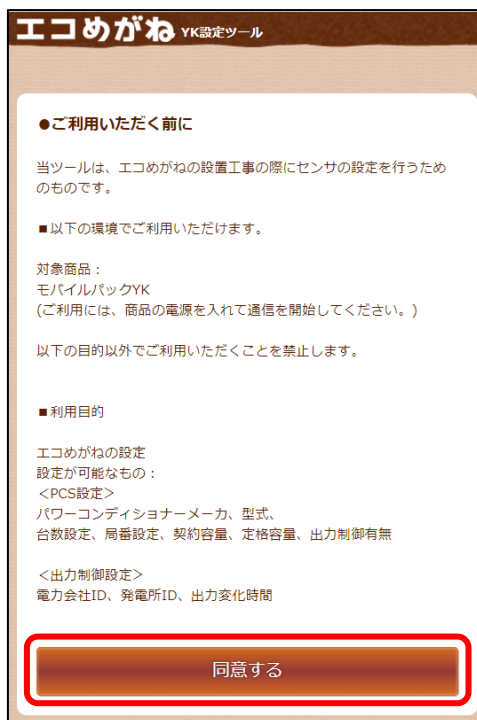
【注意】

- ・動作環境は以下の通りです。(2024年5月9日時点)
- ・ベータ版、プレビュー版などは除きます。
- ・Windows10 に搭載されている Edge ブラウザは現時点では動作未確認となっております。また、タブレットモードでは動作確認を行っておりません。予めご了承ください。
- ・JavaScript、Cookie は有効にしてください。
- ・上記以外の環境では、一部もしくはすべてのサービスがご利用できない場合があります。動作確認環境以外での不具合についてはサポート対象外です。あらかじめご了承ください。
- ・動作確認環境下であってもお客様のブラウザの設定によって正しく表示されない場合があります。ご了承ください。

パソコン動作確認環境	
ブラウザ	InternetExplorer11
	Google Chrome 最新版
	Safari (Macintosh) 最新版
スマートフォン・タブレット端末動作確認環境	
OS	Android 7.x 以降
	iOS 最新版
ブラウザ	Google Chrome 最新版
	Safari 最新版

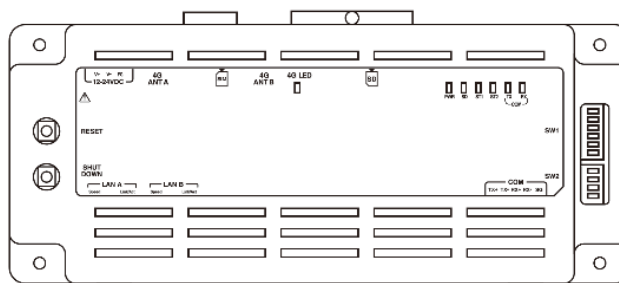
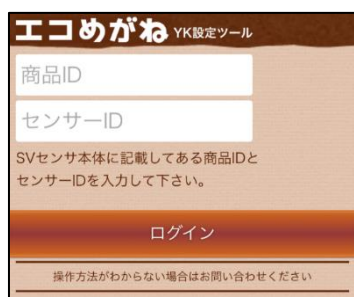
2 「ご利用いただく前に」を確認する

「ご利用いただく前に」を読み、同意頂ける場合は「同意する」ボタンを押下してください。



3 商品 ID とセンサーID を確認する

SV センサ本体に貼り付けられた「商品 ID ラベル」、「センサーID ラベル」から 11 桁（ハイフンなし）の商品 ID と 12 桁のセンサーID を確認し、ログイン画面の商品 ID 欄及び、センサーID 欄に入力してください。



【注意】

- ・パワーコンディショナの施工および設定、モバイルパック YK の施工が完了した状態で SV センサの設定を開始してください。
- ・SV センサのファームウェアアップデートが実施されている場合は、SV センサの設定を実施できません。ファームウェアアップデートが終了してから SV センサの設定を実施してください。

4 SV センサにログインする

「ログイン」ボタンを押下し、センサシリアル、FWバージョンが表示され、PCS 設定画面が表示されることを確認してください。



5 パワーコンディショナ接続台数を PCS 台数のドロップダウンリストから選択する



6 PCS メーカーをドロップダウンリストから選択する



7 パワーコンディショナの型式をドロップダウンリストから選択する

【注意】

- ・ PCS1 の型式を選択すると、自動で PCS1 の型式と同じ型式が PCS2 以下の型式欄にセットされます。
- ・ 「局番」 はパワーコンディショナに設定した番号を選択してください。

<デフォルト値>
 PCS1 = 局番 1
 PCS2 = 局番 2
 ⋮
 PCS9 = 局番 9

▼PCS台数
2台

▼PCSメーカー
安川電機

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	P2HA29P9□
	契約容量(kW)	
	定格容量(kW)	
	出力制御有無	選択してください
PCS2	局番	2
	型式	P2HA29P9□

8 契約容量、定格容量を入力する

【注意】

- ・ 各 PCS それぞれ半角数字で入力してください。
- ・ 契約容量とは、電力会社に申請している発電容量のことを指します。
- ・ 定格容量とは、パワコンの定格（発電上限）容量のことを指します。
- ・ 契約容量、定格容量は小数点第一位まで入力可能です。

▼PCS台数
2台

▼PCSメーカー
安川電機

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	P2HA29P9□
	契約容量(kW)	9.9
	定格容量(kW)	9.9
	出力制御有無	選択してください
PCS2	局番	2
	型式	P2HA29P9□

9 出力制御有無をドロップダウンリストから選択する

【注意】

- ・ 各 PCS それぞれ選択してください。

▼PCS台数
2台

▼PCSメーカー
安川電機

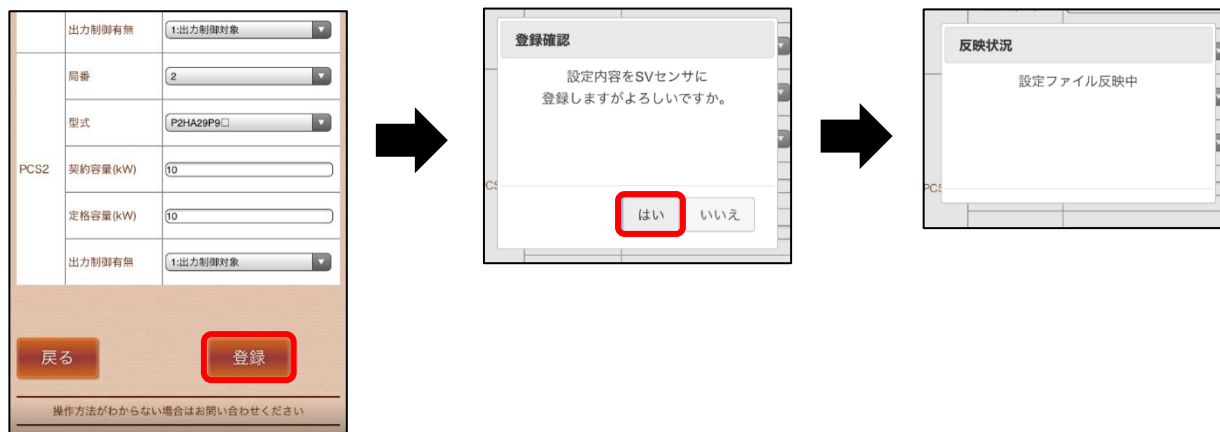
▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	P2HA29P9□
	契約容量(kW)	9.9
	定格容量(kW)	9.9
	出力制御有無	1:出力制御対象
PCS2	局番	2
	型式	P2HA29P9□

10 「登録」ボタンを押下し、登録内容に問題なければポップアップ画面の「はい」ボタンを押下する

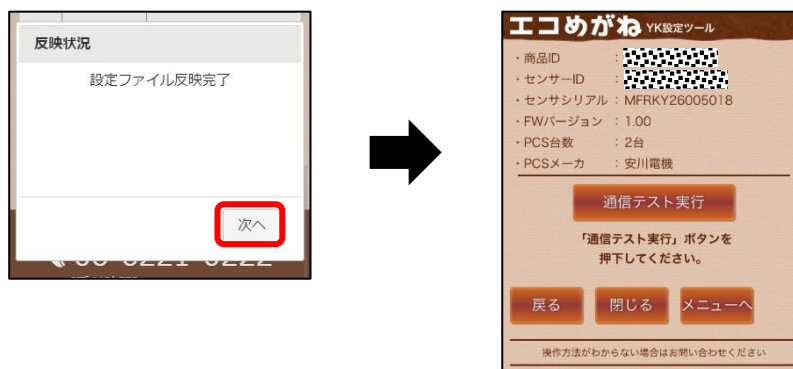
【注意】

- ・設定ファイル反映には最大2分程度かかる場合があります。



11 「設定ファイル反映完了」のポップアップ画面が表示されることを確認し、「次へ」ボタンを押下する

通信テスト実行画面が表示されます。



● モバイルパック YK の動作確認を実施する

【注意】

通信テストを実行する前に、通信ケーブルが正しく接続されており、パワーコンディショナが連系運転状態であることを確認してください。

1 「通信テスト実行」ボタンを押下する



2 「次へ」ボタンを押下して通信テスト実行結果を確認する

【注意】

- ・SV センサ-サーバ間通信テストが「OK」、各パワーコンディショナの状態が「正常」で発電量が取得できていることを確認してください。
- ・SV センサの設定を変更する場合は「戻る」ボタンを押下して、PCS 初期設定画面へ戻ってください。

通信テスト

通信テストが完了しました。
実行結果をご確認ください。

次へ

➔

▼通信テスト実行結果

<SVセンサー-サーバ間通信テスト>
OK

<SVセンサー-PCS間通信テスト>

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	P2HA29P9□
	IPアドレス	
	状態	正常
	発電量	10.0kW
PCS2	局番	2
	型式	P2HA29P9□
	IPアドレス	
	状態	異常
	発電量	0.0kW
PCS3	局番	3
	型式	P2HA29P9□
	IPアドレス	
	状態	異常
	発電量	0.0kW

戻る 閉じる メニューへ

【POINT】

状態が「異常」(「正常」以外の状態)や発電量が「0.0kW」や「空欄」となっている場合は、以下の内容を確認してください

- ① パワーコンディショナが連系運転状態で正常に動作しているか。
- ② パワーコンディショナと接続している通信ケーブルが正しく配線されているか。
- ③ SV センサに設定した接続台数、PCS メーカー、型式、局番が接続しているパワーコンディショナと合っているか。

【POINT】

「NG」となる場合は、以下の内容を確認してください。

- ① SV センサが起動しているか。
- ② 電界強度ランプが電解レベル2(橙点滅)以上か。

<電界レベル>

レベル5：緑点灯
レベル4：緑点滅
レベル3：橙点灯
レベル2：橙点滅
レベル1：赤点灯
レベル0：赤点滅

【POINT】

状態が「正常」で正しく発電量が表示されている場合でも、パワーコンディショナの動作状態を目視で確認してください。

3 SV センサのランプ状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。



- PWR : 緑点灯
- SD : 消灯または黄点滅
- ST1 : 緑点滅
- ST2 : 消灯
- TX : 黄点滅
- RX : 黄点滅

※接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

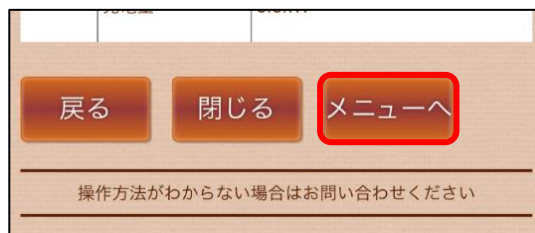
【注意】

ST2 が赤点灯している場合、SV センサが NSE サーバと通信できていません。

「LTE 電波強度ランプ一覧」(P.25) を参照して SV センサの LTE LED ランプ状態を確認してください。

☞ PCS 設定で全台出力制御「対象外」とした場合、設定の完了 (P.37) へ進んでください。

☞ PCS 設定で 1 台でも出力制御「対象」とした場合、設定ツールの「メニューへ」ボタンを押下し、出力制御設定 (P.34) へ進んでください。

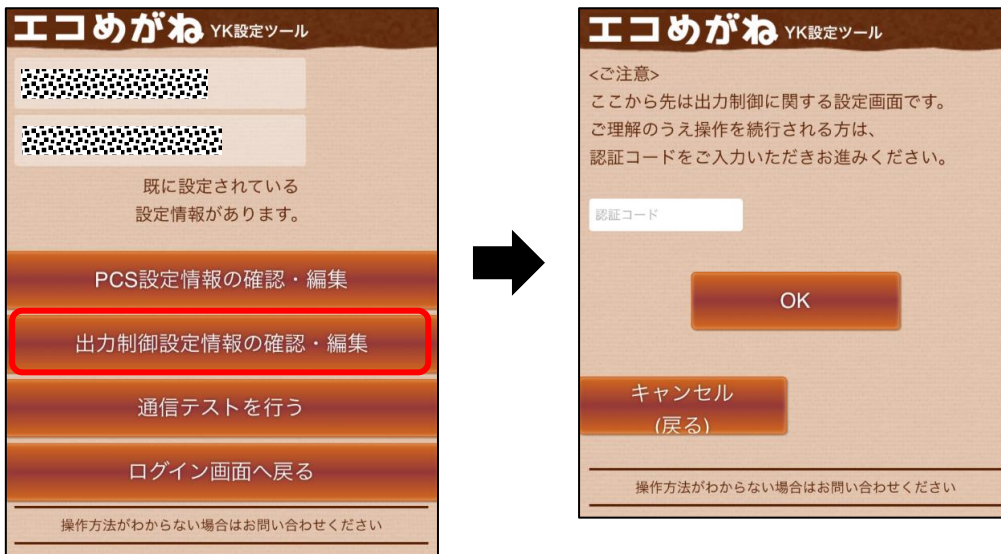


● SV センサの出力制御設定を実施する

以下は、出力制御を実施する場合の手順となります。
出力制御は、対象となる発電事業者様のみ設定の実施が必要になります。
出力制御対象外の発電事業者様は設定不要です。

1 「出力制御設定情報の確認・編集」ボタンを押下する

認証コード入力画面が表示されることを確認してください。



2 認証コードを入力し、「OK」ボタンを押下する

出力抑制設定画面が表示されることを確認してください。

認証コード : nse-341



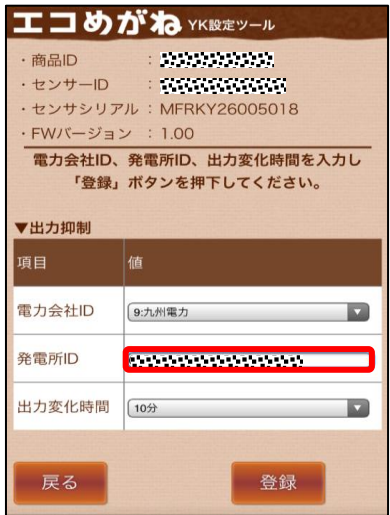
3 電力会社 ID をドロップダウンリストから選択する



4 発電所 ID を入力する

【注意】

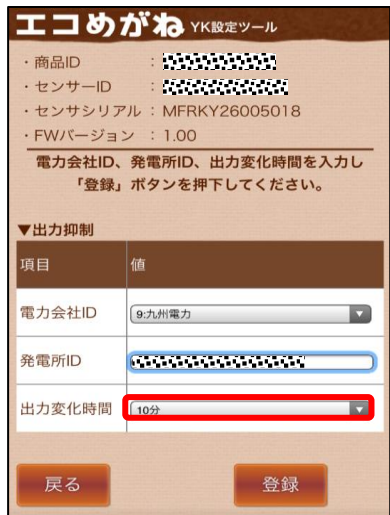
- ・ 26 桁の半角数字で入力してください。



5 出力変化時間をドロップダウンリストから選択する

【注意】

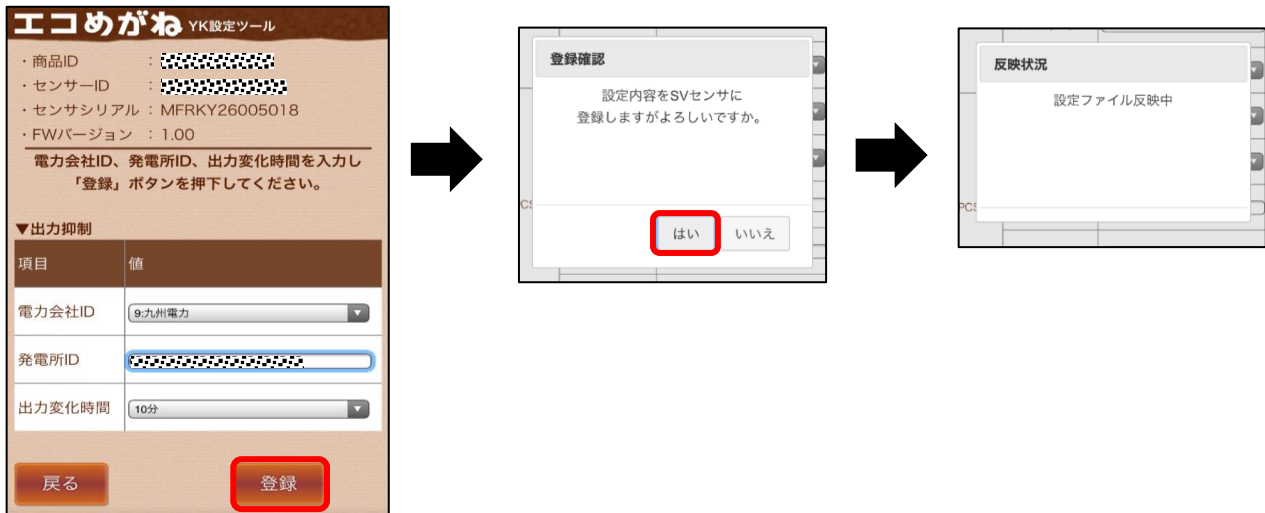
- ・ 初期値は 10 分となっておりますが、必要に応じて変更ください。



6 「登録」ボタンを押下し、登録内容に問題なければポップアップ画面の「はい」ボタンを押下する

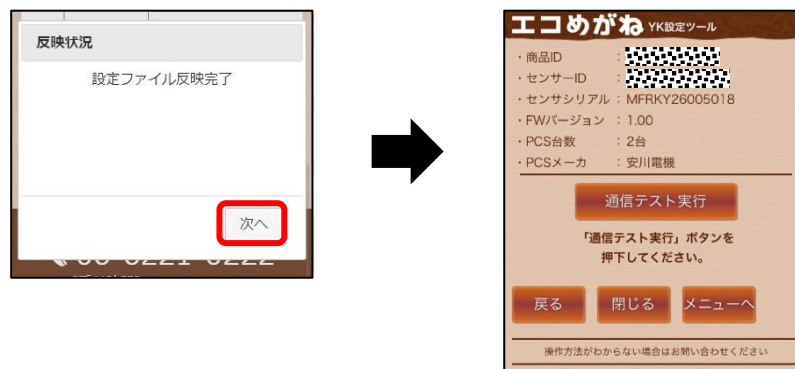
【注意】

- ・設定ファイル反映には最大2分程度かかる場合があります。



7 「設定ファイル反映完了」のポップアップ画面が表示されることを確認し、「次へ」ボタンを押下する

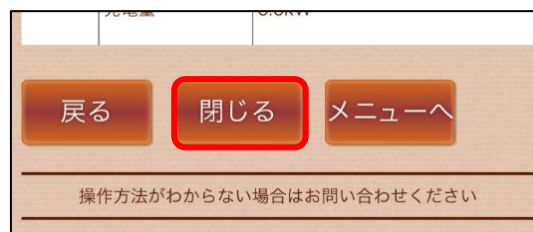
通信テスト実行画面が表示されます。



8 再度、動作確認を実行する。

再度、通信テストを実行し、SVセンサ-サーバ間通信テストが「OK」、各パワーコンディショナの状態が「正常」で発電量が取得できていることを確認してください。(P.31～P.33参照)

1 設定ツールの「閉じる」ボタンを押下し、Web ブラウザを閉じる



2 必要に応じてパワーコンディショナ本体の運転スイッチ、開閉器を操作する*

施工完了後、ご希望に応じて、運転スイッチ、開閉器を操作してください。

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナの操作を行ってください。

■ 発電所の運転を止める場合

モバイルパック YK の主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください。

■ そのまま発電所の運用を開始する場合

モバイルパック YK の主電源用ブレーカ、接続箱の開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）、太陽光発電用ブレーカおよびパワーコンディショナの運転スイッチを**オン**のままにしてください。

以上で設定は完了です。

取扱方法

PCS 設定確認・編集～設定ツール～

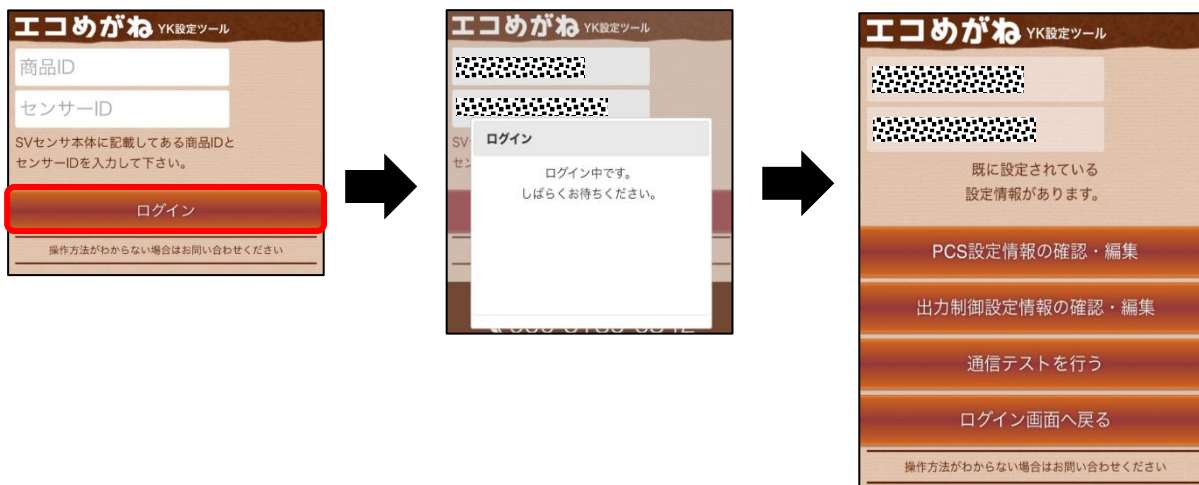
初期設定完了後は、以下の手順で SV センサの PCS 設定確認・編集を行うことができます。

1 Web ブラウザから SV センサにログインする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://yk.eco-megane.jp>

SV センサの設定を実施済みの場合、「ログイン」ボタンを押下すると遷移先確認画面が表示されます。



2 SV センサの設定確認

「PCS 設定情報の確認・編集」ボタンを押下し、設定情報を確認する。



3 PCS 設定情報の確認画面にて「編集」ボタンを押下する

▼PCS台数
1台

▼PCSメーカー
安川電機

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	P2HA29P9□
	契約容量(kW)	9.9
	定格容量(kW)	9.9
	出力制御有無	1:出力制御対象

戻る 編集

操作方法がわからない場合はお問い合わせください

4 変更したい箇所の編集を行い、「登録」ボタンを押下する

▼PCS台数
1台

▼PCSメーカー
安川電機

▼PCS型式

PCS	項目	値
PCS1	局番	1
	型式	P2HA29P9□
	契約容量(kW)	9.9
	定格容量(kW)	9.9
	出力制御有無	1:出力制御対象

戻る 登録

【POINT】
編集したい項目を選択し、変更してください。
変更後は、「登録」ボタンを押下してください。

5 登録内容確認後、Web ブラウザを閉じる

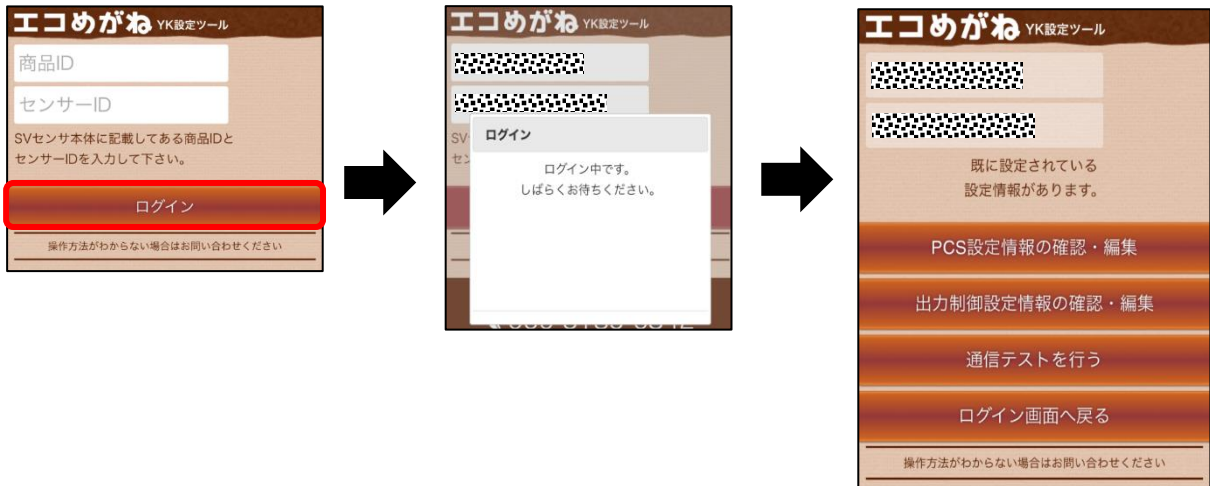
初期設定完了後は、以下の手順で SV センサの出力制御設定確認・編集を行うことができます。

1 Web ブラウザから SV センサにログインする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://yk.eco-megane.jp>

SV センサの設定を実施済みの場合、「ログイン」ボタンを押下すると遷移先確認画面が表示されます。



2 SV センサの設定確認

「出力制御設定情報の確認・編集」ボタンを押下後、認証コードを入力し、さらに「OK」を押下し、設定情報を確認する。

認証コード：nse-341



3 変更したい箇所の編集を行い、「登録」ボタンを押下する

エコめがね YK設定ツール

・商品ID : [QRコード]
・センサーID : [QRコード]
・センサシリアル : MFRKY26005018
・FWバージョン : 1.00

電力会社ID、発電所ID、出力変化時間を入力し
「登録」ボタンを押下してください。

▼出力抑制

項目	値
電力会社ID	九州電力
発電所ID	[QRコード]
出力変化時間	10分

戻る 登録

【POINT】

編集したい項目を選択し、変更してください。
変更後は、「登録」ボタンを押下してください。

4 登録内容確認後、Web ブラウザを閉じる

初期設定完了後は、以下の手順でシステムの動作確認を実施することができます。
パワーコンディショナが起動できる日射量があるとき（早朝・夕方を除く、照度が安定している状態）に、動作確認を行ってください。

1 通信ケーブルの接続状態、パワーコンディショナの運転状態を確認する

パワーコンディショナ-SV センサ間、パワーコンディショナ間の通信ケーブルが正しく接続され、パワーコンディショナが系統連系運転状態であることを確認してください。

2 SV センサの状態を確認する

SV センサのランプが以下の状態であることを確認してください。
※以下の状態でない場合、設置施工、SV センサの初期設定が完了していないか、SV センサの動作状態が不安定になっていることが考えられます。該当する項目を確認して、問題を解消してください。



- PWR : 緑点灯
- SD : 消灯または黄点滅
- ST1 : 緑点滅
- ST2 : 消灯
- TX : 黄点滅
- RX : 黄点滅

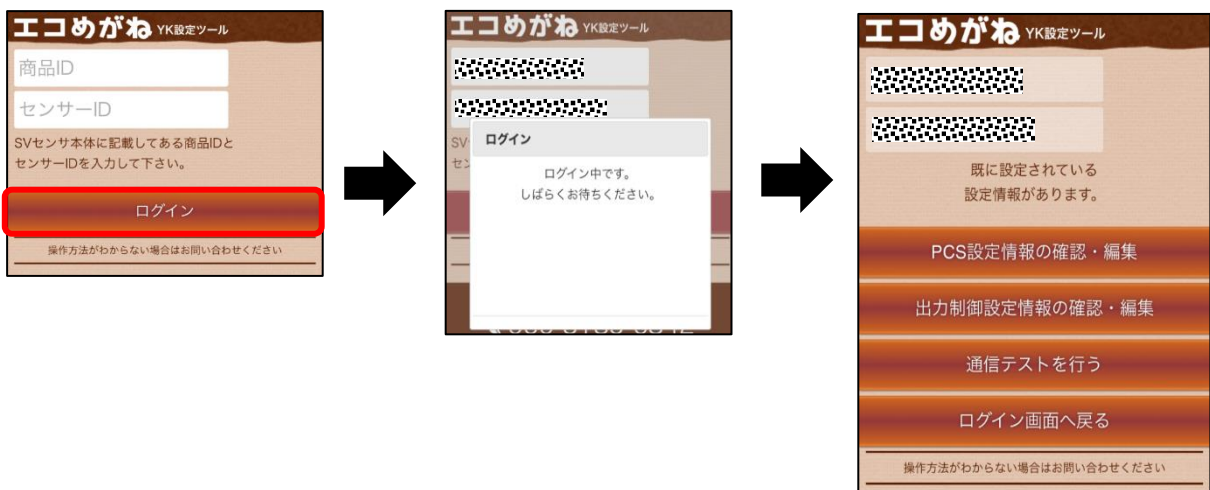
※接続するパワーコンディショナの機種によっては消灯となる場合があります

3 SV センサにログインする

インターネット環境に繋がった PC もしくは、スマートフォン、タブレット端末から以下の URL にアクセスしてください。

<https://yk.eco-megane.jp>

SV センサの設定を実施済みの場合、商品 ID、センサーID 入力後、「ログイン」ボタンを押下するとメニュー画面が表示されます。



4 「通信テストを行う」ボタンを押下する

「通信テストを行う」ボタンを押下し、通信テストを実施する。



5 通信テスト実行結果の内容を確認する (P.32)

6 「閉じる」ボタンを押下し、Web ブラウザを閉じる

パワーコンディショナを交換・追加する

取扱方法

パワーコンディショナを交換・追加する場合は、お客様にて設定作業を行っていただく必要があります。

【注意】

モバイルパック YK は、製品による制約を受けない限り最大 5 台までのパワーコンディショナを接続することができます。

ただし、パワーコンディショナ、周辺機器の仕様にて台数が制限されている場合、その仕様に従います。

1 交換・追加するパワーコンディショナのユニット No.を設定する

パワーコンディショナを交換・追加する場合、新たに設置するパワーコンディショナの局番設定を行います。

■ 交換する場合

パワーコンディショナを交換する場合は、置き換えで設置したパワーコンディショナに、交換前のパワーコンディショナと同じ局番を設定してください。

(例) 3 台のシステム構成で 2 台目を交換する場合

接続台数	局番	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3

交換前のパワーコンディショナと同じ局番を設定する

■ 追加する場合

パワーコンディショナを新たに追加する場合は、追加設置したパワーコンディショナに新たな局番を設定してください。

(例) 3 台のシステム構成で 4 台目を追加する場合

接続台数	局番	
	交換前	交換後
パワーコンディショナ 1 台目	1	1
パワーコンディショナ 2 台目	2	2
パワーコンディショナ 3 台目	3	3
(追加) パワーコンディショナ 4 台目	-	4

新たな局番を設定する

2 必要に応じて設定・動作確認作業を行う

■ 交換する場合

⇒ 「動作確認～設定ツール～(P.42)」

■ 追加する場合

⇒ 「PCS 設定確認・編集～設定ツール～(P.38)」
「動作確認～設定ツール～(P.42)」

本体を取り外す

取扱方法

以下の手順に従って、モバイルパック YK を取り外してください。

1 発電設備を停止する

モバイルパック YK を取り外す前に、以下の状態にしてください。

- 接続箱のすべての開閉器（またはパワーコンディショナの入力開閉器）が**オフ**にしてください※
- 太陽光発電用ブレーカを**オフ**にしてください※
- パワーコンディショナの運転スイッチを**オフ**にしてください※
- モバイルパック YK 用主電源ブレーカを**オフ**にしてください

※パワーコンディショナが複数台設置されている場合は、すべてのパワーコンディショナで確認、操作を行ってください。

2 モバイルパック YK のサーキットプロテクタを OFF にする

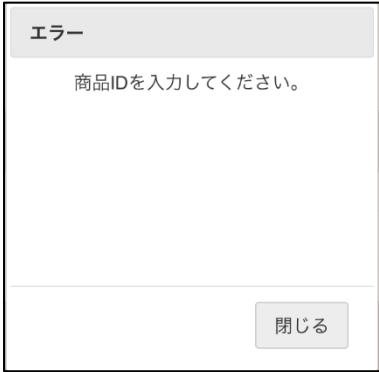

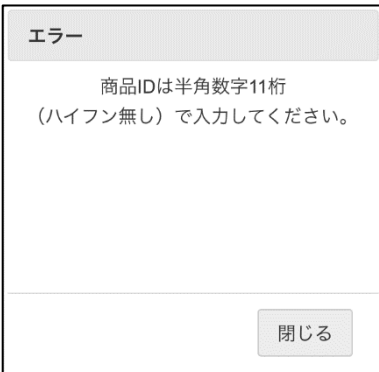
3 モバイルパック YK に接続されている配線を外す

端子台にねじ止めされている電源配線、通信線、接地線等の配線を外してください。

4 モバイルパック YK 本体を、設置場所から取り外す

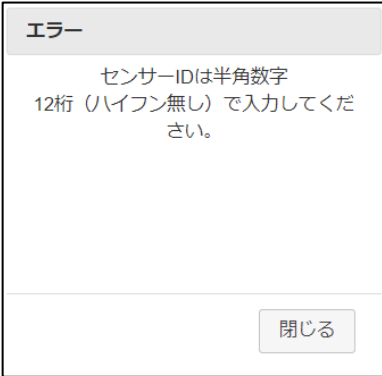
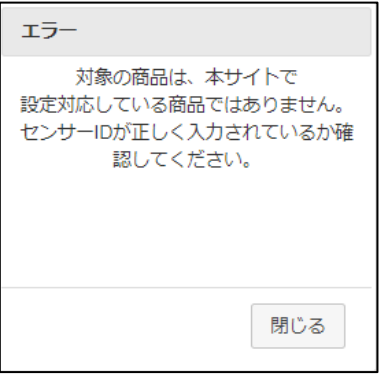
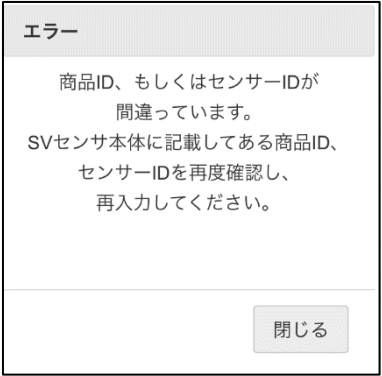
設定ツール画面 こんな時には？

●YK 設定ツール

No.	症状	対処方法
1	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品ID欄に商品IDが入力されておられません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、商品ID欄に商品ID（ハイフン無し 11桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
2	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄にセンサーIDが入力されておられません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、センサーID欄にセンサーID（12桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
3	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品ID欄に入力された商品IDが11桁未満、もしくは、半角数字以外で入力されております。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、商品ID欄に商品ID（ハイフン無し 11桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>

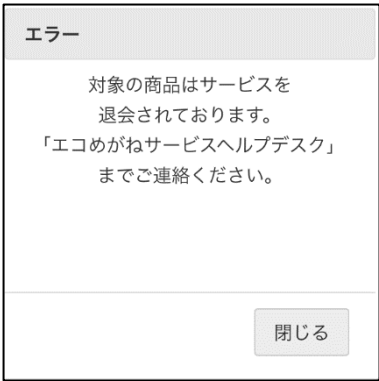
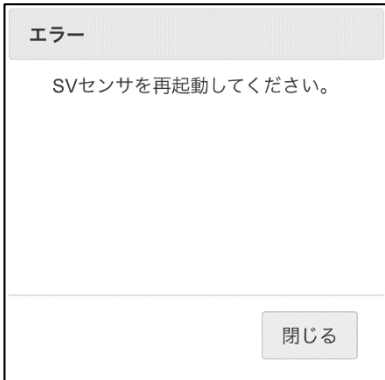
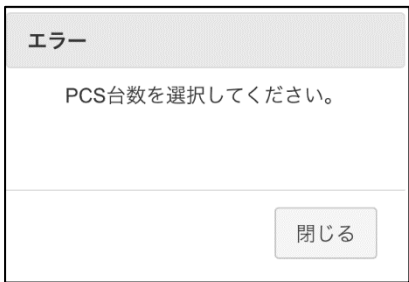
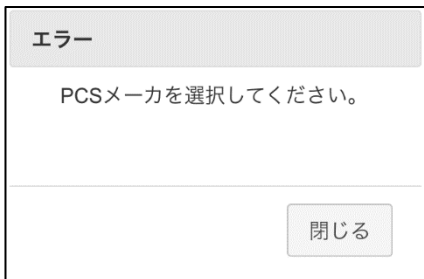
設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

その他

No.	症状	対処方法
4	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄に入力されたセンサーIDが12桁未満、もしくは、半角数字以外で入力されております。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻ってください。ログイン画面にて、センサーID欄にセンサーID（12桁）を入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
5	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>センサーID欄に入力されたセンサーIDは本サイトで対応している商品ではありません。 SVセンサ本体に記載しているセンサーIDを再度ご確認ください。 確認後、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻り、センサーIDを入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>
6	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>商品IDとセンサーIDの組み合わせが間違っている可能性があります。 SVセンサ本体に記載している商品ID、センサーIDを再度ご確認ください。 確認後、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、ログイン画面に戻り、商品ID、センサーIDを入力し、再度「ログイン」ボタンを押下してください。</p>

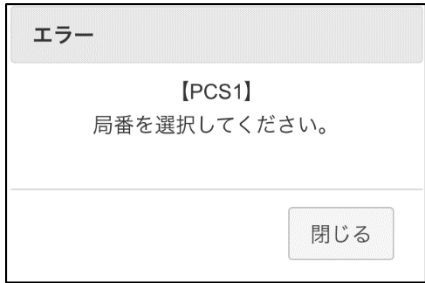
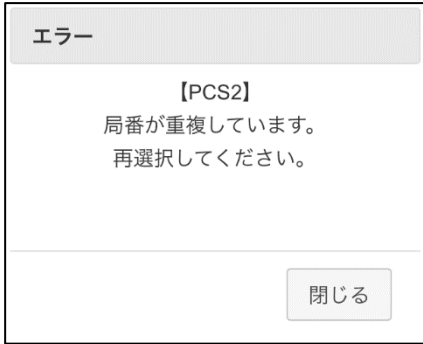
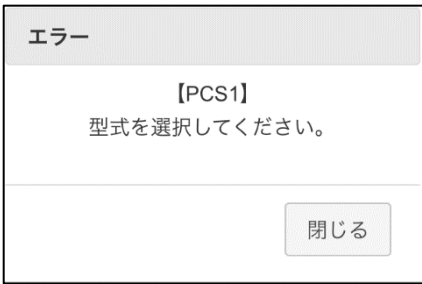
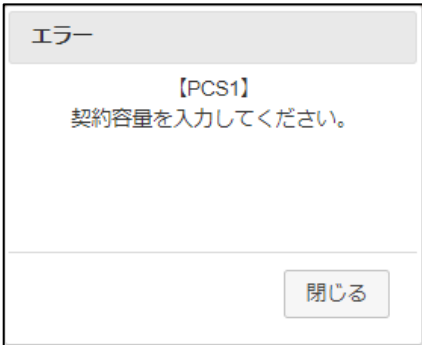
設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

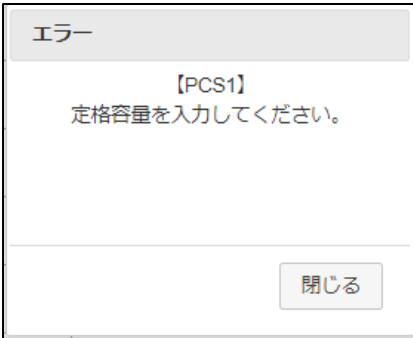
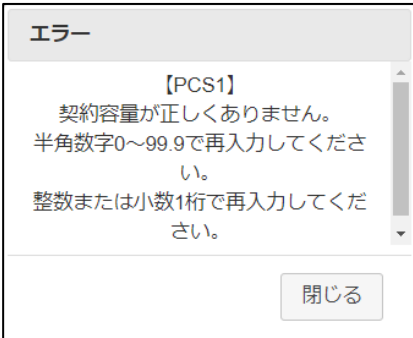
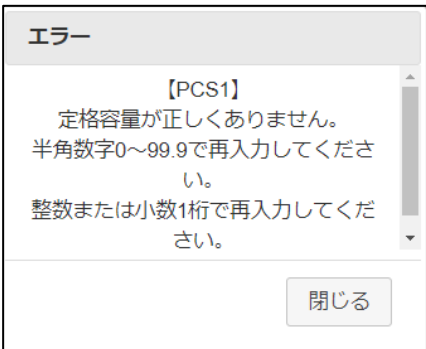
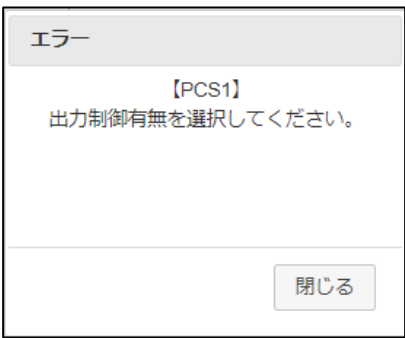
その他

No.	症状	対処方法
7	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>エコめがねサービスを退会されているため、SVセンサの設定を実施できません。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下してログイン画面に戻ってください。ログイン画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>
8	<p>ログイン画面にて、「ログイン」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>SVセンサに正常にアクセスできませんでした。SVセンサの「RESET」ボタンを押下して、SVセンサを再起動してください。SVセンサの再起動完了後、「閉じる」ボタンを押下してログイン画面に戻り、再度ログインしてください。</p> <p>ログイン時、何度も発生する場合は、画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>
9	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「PCS台数」が未選択（選択してください）です。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。「PCS台数」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
10	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「PCSメーカー」が未選択（選択してください）です。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。「PCSメーカー」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

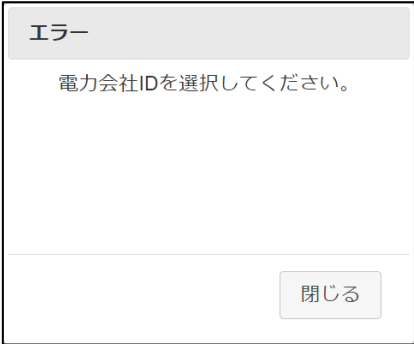
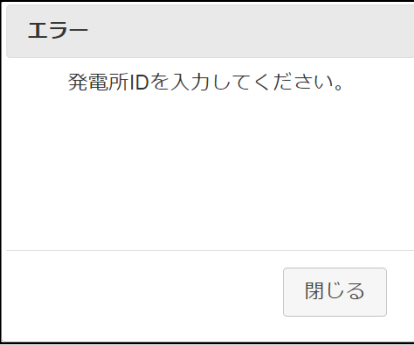
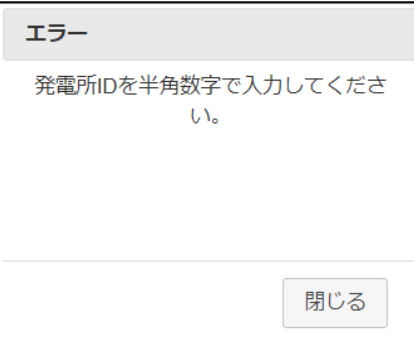
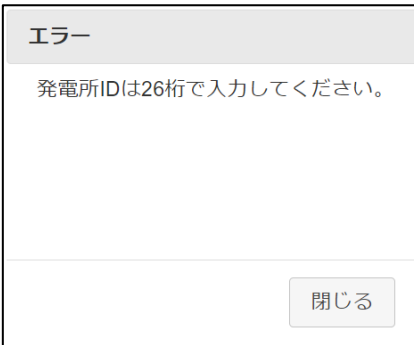
その他

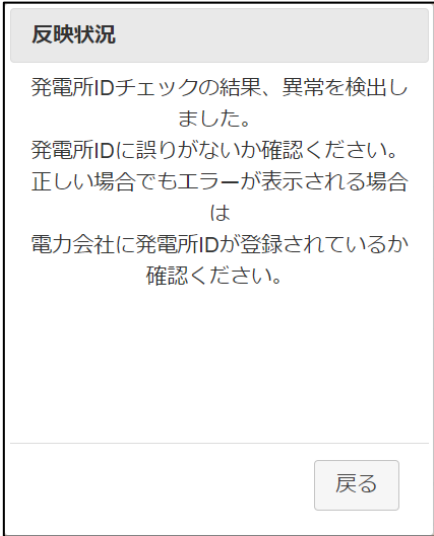
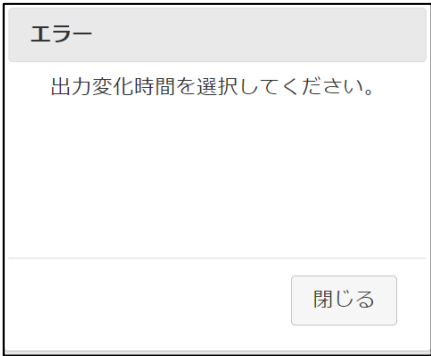
No.	症状	対処方法
11	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「局番」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「局番」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
12	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「局番」が重複しています。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「局番」を重複しないように選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
13	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「型式」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「型式」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
14	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「契約容量」が未入力（入力してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「契約容量」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

No.	症状	対処方法
15	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「定格容量」が未入力（入力してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「定格容量」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>
16	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「契約容量」が正しくありません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「契約容量」を半角数字0~99.9の範囲で整数または小数1桁で入力してください。</p>
17	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「定格容量」が正しくありません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「定格容量」を半角数字0~99.9の範囲で整数または小数1桁で入力してください。</p>
18	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> 	<p>「出力制御有無」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻ってください。 「出力制御有無」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。</p>

No.	症状	対処方法
19	<p>PCS設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> <div data-bbox="349 367 759 878" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">反映状況</p> <p>設定ファイル反映に失敗しました。 SVセンサのLTEランプが緑点灯（緑点滅）していることを確認し、もう一度「登録」ボタンを押してください。</p> <p>繰り返し失敗する場合は、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">戻る</p> </div>	<p>SVセンサの通信機能が正常に動作していない可能性があります。 SVセンサのLTEランプ状態を確認してください。 正常に動作している場合は、エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、PCS設定画面に戻り、再度「登録」ボタンを押下してください。</p> <p>何度も発生する場合は、画面下部にある電話番号を押下し、「エコめがねサービスヘルプデスク」までご連絡ください。</p>
20	<p>メニュー画面にて、「出力制御設定情報の確認・編集」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> <div data-bbox="349 1003 759 1402" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エラー</p> <p>「PCS設定情報の確認・編集」にて設定された出力制御有無がすべて「対象外」となっております。再度設定内容をご確認ください。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">閉じる</p> </div>	<p>PCS設定画面の出力制御有無がすべて「対象外」となっています。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、メニュー画面に戻ってください。 出力制御が必要なPCSがある場合、「PCS設定情報の確認・編集」を押下し、出力制御対象PCSの「出力制御有無」を「対象」と選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。 その後、「メニューへ」ボタンを押下し、「出力制御設定情報の確認・編集」ボタン押下してください。</p>
21	<p>認証コード画面にて、認証コード入力、「OK」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。</p> <div data-bbox="357 1554 770 1957" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;">エラー</p> <p>認証コードが間違っています。再度確認し、再入力してください。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">閉じる</p> </div>	<p>「認証コード」が正しくありません。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、認証コード入力画面に戻ってください。 「認証コード」を入力し、再度「OK」ボタンを押下してください。</p>

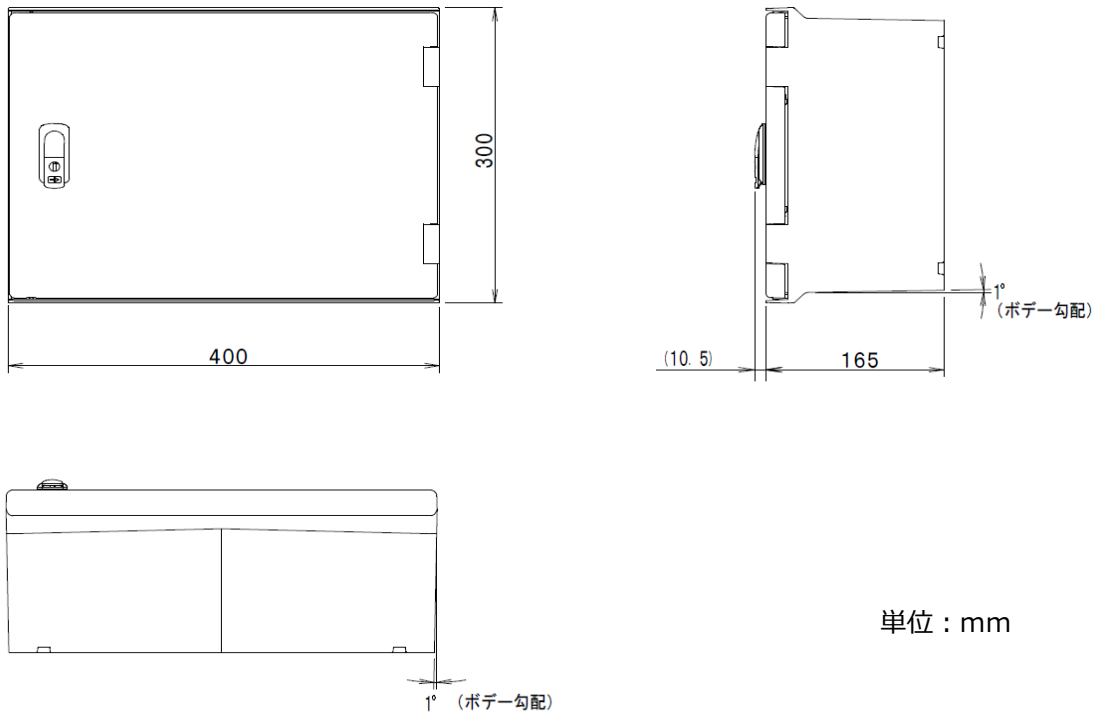
設定ツール画面 こんな時には？ (つづき)

No.	症状	対処方法
22	出力制御設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。 	「電力会社ID」が未選択（選択してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、出力制御設定画面に戻ってください。 「電力会社ID」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。
23	出力制御設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。 	「発電所ID」が未入力（入力してください）です。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、出力制御設定画面に戻ってください。 「発電所ID」を入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。
24	出力制御設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。 	「発電所ID」が半角数字以外で入力されております。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、出力制御設定画面に戻ってください。 「発電所ID」を半角数字で入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。
25	出力制御設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。 	「発電所ID」が26桁以外で入力されております。 エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、出力制御設定画面に戻ってください。 「発電所ID」を26桁で入力し、再度「登録」ボタンを押下してください。

No.	症状	対処方法
26	出力制御設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。 	「発電所ID」が正しくありません。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、出力制御設定画面に戻ってください。「発電所ID」に誤りがないか確認し、再度入力後、「登録」ボタンを押下してください。 何度も発生する場合は、電力会社に発電所IDが登録されているか確認してください。
27	出力制御設定画面にて、「登録」ボタン押下後、以下のエラー画面が表示される。 	「出力変化時間」が未選択（選択してください）です。エラー画面の「閉じる」ボタンを押下し、出力制御設定画面に戻ってください。「出力変化時間」を選択し、再度「登録」ボタンを押下してください。
28	通信テストにて、<SVセンサ-サーバ間通信テスト>の結果が「NG」となる。	SVセンサのLEDランプ状態を確認してください。正常に動作している場合は、再度「通信テスト実行」ボタンを押下してください。
29	通信テストにて、<SVセンサ-PCS間通信テスト>の状態が「異常」、「空欄」もしくは「-」となる。	通信ケーブルが正しく配線・接続されているか確認してください。また、SVセンサの設定内容（接続台数・PCSメーカー・型式・局番）を確認してください。通信ケーブルが正しく配線されており、SVセンサの設定に誤りがない場合は、再度「通信テスト実行」ボタンを押下してください。
30	誤ったPCS情報を設定してしまった。	【通信テスト画面の場合】 「戻る」ボタンを押下してPCS情報登録画面に戻り、正しい情報を登録し直してください。 【ログアウト済みの場合】 P. 38「PCS設定確認・編集～設定ツール～」の通り、PCS情報を編集して、正しい情報を登録し直してください。

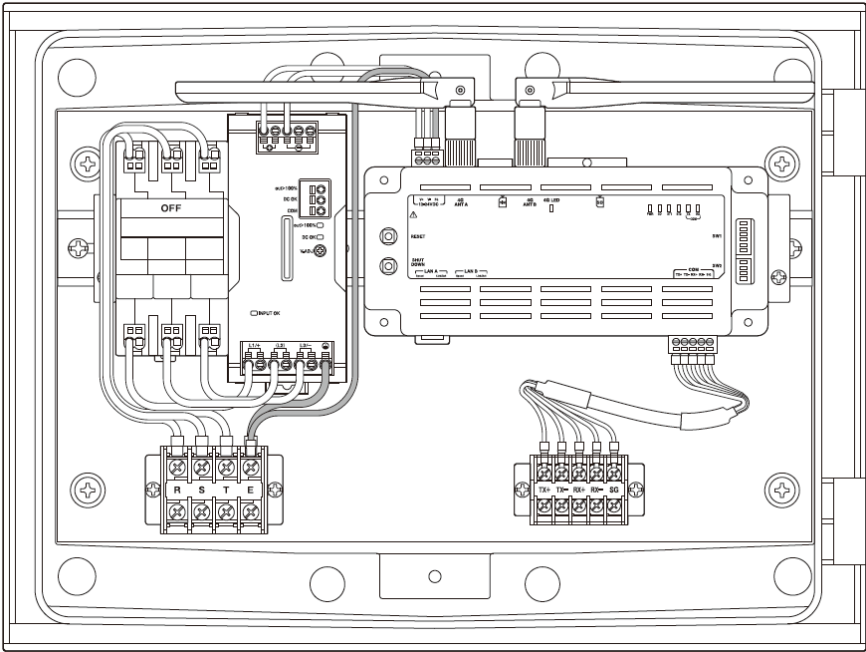
仕様について

項目	仕様
■型式	ZMPYKT
■使用周囲温度	-10 ~ +60 °C (ただし氷結しないこと)
■保存温度	-20 ~ +60 °C (ただし氷結しないこと)
■使用周囲湿度	相対湿度 10 ~ 85 % (ただし結露しないこと)
■保存湿度	相対湿度 10 ~ 85 % (ただし結露しないこと)
■電源	三相 AC200V
■消費電力 [W]	最大 14.8W
■入力容量 [VA]	最大 240VA
■保護構造	IP65 相当 ※施工状態によって、IP 等級は変化します。
■質量	5.0kg 以下
■外形寸法	突起部除く 幅 400×奥行 165×高さ 300 mm (突起部含む 幅 400×奥行 175.5×高さ 300 mm)

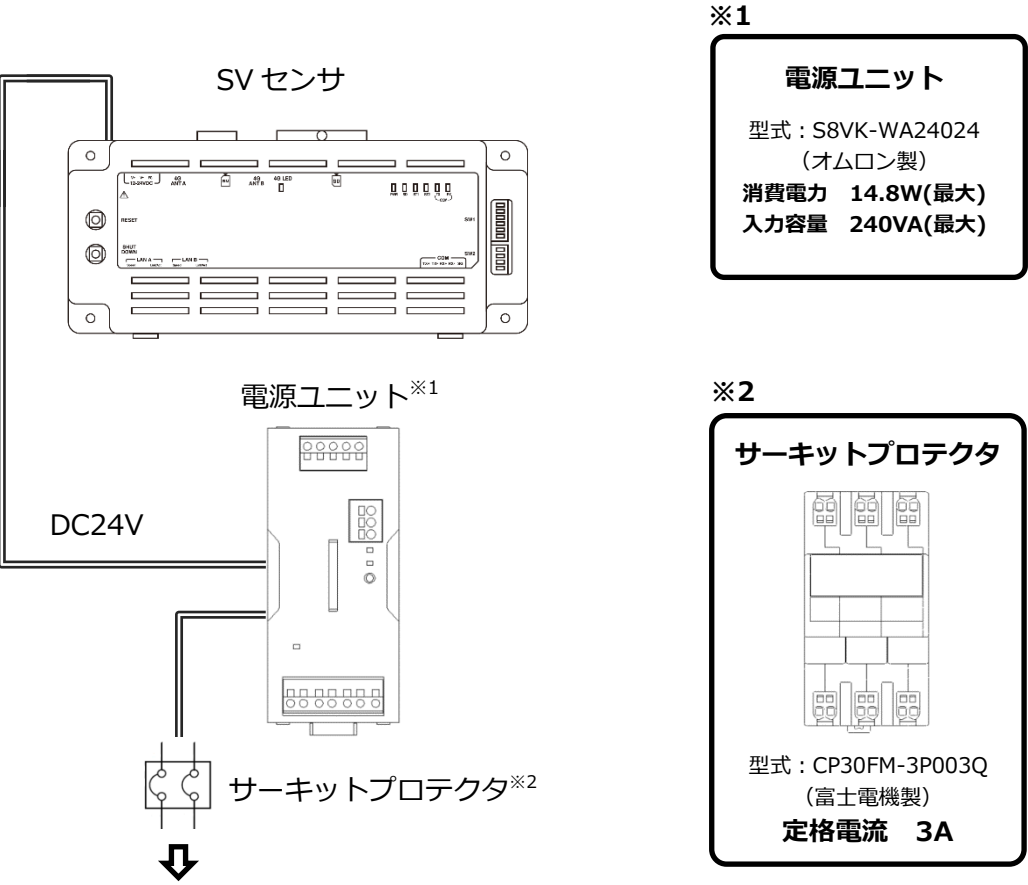


単位 : mm

組込図



接続図



販売元



株式会社 NTT スマイルエナジー

〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 2 丁目 6 番 18 号 淀屋橋スクエア 4F

06-6221-1234

お問い合わせ support@nttse.com

施工に関する
ご質問・ご相談は…

エコめがね
サービス
ヘルプデスク

050-3185-6842

受付時間

10:00 ~ 17:30

※年末年始・夏季休暇等の当社指定休日は除きます。